夕刊 滿洲日報 六月二十一日

歸朝御挨拶を言上の後 軍縮會議の經過を伏奏
畏し大奧御學問所に參入して けふ軍縮兩全權參內

【東京二十日發電】帝國全權としてロンドンに使ひし世界平和のため劃期的貢献をなし無事歸朝した若槻、財部兩全權は天皇、皇后兩陛下の天機並びに御機嫌を奉伺し歸朝の挨拶を言上併せて會議の結果調印の運びに至つた經過を復命すべく二十日午前十時二十分川崎、左近司兩顧問以下隨員と共に宮城に參內した、この日若槻全權は長途の旅行の疲れも見せず晴々しき面持、勳一等略綬を帶びたフロックの禮裝で秘書の令息有格氏と共に坂下門より參內、青葉影濃き東御車寄より大奧に參入、これに前後し稻子夫人同伴の財部海相や齋藤情報部長等も陸續參入し斯くて全權一行二十餘名は鳳凰の間に候次參進陸軍大元帥の御通常禮裝を召された天皇陛下は鈴木侍從長の御先導にて出御、先づ若槻主席全權に謁を賜はり全權は歸朝の御挨拶を言上天機を奉伺し次いで財部全權以下にそれぐ〜拜謁を賜はつた、斯くて隨員等は一旦宮城を退出し、若槻、財部兩全權は更に大奧御學問所に進み咫尺の間に伺候し五國軍縮條約調印までの會議經過を四十分に亘り詳細逐條的に伏奏申上げ天皇陛下には終始御熱心にこれを御聽取あらせられたが、終つて陛下には御言葉をもつて若槻、財部兩全權並びに海外に在る松平、永井兩大使に御慰勞の御思召に依る優渥なる勅語を賜ひ兩全權は十一時感激して退下した

關係者一同に賜餐 有難き御思召に皆感激

【東京廿日發電】伏奏を終へた若槻、財部兩全權は次いで桐の間にて財部夫人と共に皇后陛下に謁を賜り歸朝の御挨拶を言上引續き正午兩全權は隨員等と共に豐明殿に參進、天皇陛下には閑院宮殿從一木宮相以下を從へさせられて出御、濱口首相、幣原外相を交へた一同四十三名に對し御慰勞の午餐の御陪食を賜はり次いで千種の間でお茶を賜はり陛下には一同と御歡談あらせられ一同は午後二時過ぎ感激して退下した尙この日畏き邊にては若槻、財部兩全權に對して御紋章入りの銀製花瓶一對宛を目錄として賜り松平、永井兩全權には幣原外相を經て傳達せしめられた

兵力量覺書 手續督促

【東京二十日發電】十九日午前海相官邸において非公式軍事參議官會議開かれロンドン海軍條約に關する兵力量の決定に關する覺書に對して財部海相と加藤軍事參議官との間に意見の交換を行ふところあつたが、該覺書に對しては既に軍事參議官並びに財部海相等は署名調印を了したのであるから同日加藤軍事參議官より本覺書は既に完成したのであるから速かにこれを正式の軍事參議官會議に附議したる後上奏御裁可の手續を執られたしと述べて財部海相に對し督促するところあつた

全權に勅語

【東京二十日發電】若槻、財部、松平、永井四ロンドン會議全權に賜りたる勅語左の如し

勅語

卿等曩ニ全權委員トシテロンドン海軍會議ニ列シ今茲ニ復命ヲ聽ク 累月ノ間慣軍克ク謀リ精勵事ニ從ヒ以テ其ノ任務ヲ了ヘタリ朕深ク其ノ勞ヲ嘉ス

陸海兩相と直接交渉 豫算節約に關し

【東京二十日發電】本年度豫算節約案は陸海軍を除く外は略纏まりその結果大藏省原案二千六百萬圓に對し三千三百萬圓程度で折合が附いた模樣である、而して大藏省側の讓歩額は販賣の合理化に依る專賣益金の增加に依つて僅に補ひ得る見込みであるが節約總額八千百萬圓中四千五百萬圓を占める陸海軍は十九日に至り漸く明細書を提出正式交涉に入つたが陸軍は五百萬圓海軍は三百五十萬圓以上は節約不可能なりとし態度頗る強硬で井上藏相は近く阿部陸相代理、財部海相と直接談判を開始する意嚮である

けふの寫眞

【上】は東京驛頭における若槻全權歡迎の群衆【下】は久し振りで自邸に落ちついた若槻全權の一家

走馬燈 荻川

支那(其十)

東四省當局が、支那革命の擬定に貢獻せんとならば、何を措いても金留主義を採れ、そうして之が爲には外資と外智を納れよと云つたが、筆者の日本人たるゆえを以て、それが日本の資と智なるべしと思つちや否けない、歐米いづれより可なりだ、さて歐米はそうとなると果して資力を借そうか、果して智力を與へようか、過去東四省に幾多の外國顧問が、在ゆる智識を携へて來たが、貽すところ幾何ぞや、亦資金なんぞは、てんで這入らないじやないか。

◇

東四省に資を借し智を與へようと云ふ外國、外國人が皆無とは云はぬが、眞面目なるは得難し其は柰々慾得づくから之を爲さんと欲せばなり、そうなると親き他人よりは、疎くとも親類筋が賴母敷からずや、東四省から觀ると、日本とロシアとは親類筋なり、此親類を今は東四省が疎んじて居る、殊にロシアなんかに對しては、此頃に至つて和親を蹈り、東四省から莫德惠が選ばれ、支那全權としてモスクワにまでも出向いてゐるもの丶一時はそれと絕緣にまで進んだ

◇

絕緣にまで進み、絕緣が出來なくて這次の和親である、一たび結ばれた因緣は、そう易く絕ち得るものでない、尤も親類たるべきロシアが東四省に對し、親類らしからぬ態度を採つたことも再三あつた、併し東四省の現狀は、外よりも內である、內部を充實せねばならぬ、金融主義とて畢竟はこゝから來る、ロシアに對しての反撥態度、それよりも語弊はあるが、碎けて言へば、此ロシアを抱込むが利巧である、斯て緣の繋がる點に、共榮共存の果實を採れ。

◇

そうして露支の親類關係は、條約から起つて居る、若し此條約が氣に入らねば、其條約を尊重し、途を立て理を盡して、之が改訂に入るべきものならん、此場合に對者が横紙を破らば、それこそ喧嘩差支なしで、斯うした喧嘩は必ず勝つに運はぬ、露支問題は先づこれとして、さて東四省は、同じ親類筋たる日本を何んと觀とるにや、日本はロシアと違つて、何處々々迄も親類の禮儀を盡して渝らぬ、それに動もすると對ロシア同樣の素振を示すことあり、是果して東四省の利益か。

天津海關總罷業 けさ總稅務司の命令で
外交團重大視

【天津特電二十日發】天津稅關は十九日夜、南京政府の命令により閻錫山氏が任命した新稅關長シンプソン氏を一人殘して全員總罷業を開始した外交團は之を通商事務停止として重大視し目下、對策を協議中

海關乘取と外交團の態度 損害無き限り默認か

【北平特電二十日發】天津海關收入の南方輸送禁止に關する最後策として閻錫山氏はピール天津海關長を罷職せしめてシンプソン氏をその後任としたことは現行海關制度の破壞に對する第一歩として各方面では重大視してゐるこれに對して北平の關係銀行團は外交團の注意を喚起してゐるもの丶外交團としても外債擔保の正稅五分が確に保存されるといふのならば抗議の申込みやうもないといつた調子但し正稅五分が軍費にでも流用された際は抗議を爲すべしといふだけである、北平の空氣はまづこんな所で目下は回訓を待つ程度であるが所詮抗議は出ないであらうと天津海關を勇敢に乘取つたことは今や閻錫山氏が自派と[illegible]すべき資金缺乏の時に當つての當然の成行で、これを南方に廻したにしても蔣介石氏の軍費使用に決つてゐる然らば問題の海關收入は毎月幾何か(二百萬海關兩と云はれてゐる)既に鹽稅を自己のものとした山西派は今度は長いこと統一のとれてゐた海關制度を打破して二百萬海關兩をせしめてやつと蘇生したわけである

南京政府が否認通電

【上海十九日發電】國民政府外交部は閻錫山氏の天津海關強制回收につきベルギー、スペイン等十五ヶ國に對し山西派の行爲を否認しシンプソン氏を總稅務司と認めざる旨を聲明通達じたが、內英米日佛四國に對しては外交部から直通し他は上海總領事に本日交附した

郵便局長會議 來廿八日から三日間

遞信局では來る二十八日から遞信局會議室において全滿郵便局長會議を開催するが、出席者は櫻井局長以下各課長に全滿郵便局長四十五名、その日割は左の通りである

▲六月二十八日(土曜日)午後一時より事務打合

▲六月廿九日(日曜日)午前八時より遞信局長訓示、諮問事項「遞信事業の合理化に對する方策を問ふ」

▲六月三十日(月曜日)午前八時より建議事項、協議事項、注意事項

なほ七月三日には現業主事會議を開く由

對日感情は好轉
自分は用務濟み次第歸任する 賜暇歸奉の王家楨氏語る

時局の動きと共にその態度を注目されてゐる外交部次長王家楨氏が今回賜暇歸奉を期として南京を引揚げるとか又は國民政府の見極めをつけたとか種々批評されてゐるが、既報の如く廿日入港奉天丸で歸滿した甲板上流暢な日本語で「二週間の賜暇で丁度故張作霖氏の祭典が行はれるので列席のため、急遽來滿したものだ」と前提して大要次の如く語る

自分の進退に關し歸奉したら再び南京に歸らないだらうなんていはれてゐるが、自分は必らず歸る積りである、南北は戰つてはゐるが新聞通信が報ずるやうな大袈裟な戰鬪はまだ行はれてゐない、從つて上海南京ともに至極平穩である、蔣介石氏の負傷說なんか噴飯に値する自分があちらに行つてから二ヶ月になるが、この間別に外交上これといふ問題もなく靜かなものだつた、日本に對する感情は非常に好轉し幣原外相の人氣は頗る好い、小幡公使アグレマン問題も自分が行つてからは何とも聞かされなかつたが、今次の南北戰で反國民軍の形勢が有利に傳へられてゐるが自分達外交事務に與かるものは出來得べくんば

國內戰爭なぞを排斥したい、歸奉したら張學良氏にも自分の意見をよく述べるつもりである、この間蘇州で日本の修學旅行學生が災難にあつたさうですが非常に遺憾に思つてゐます全く兇暴なる匪賊の一團が行つた事で政府の方でも衷心遺憾の意を表してゐた、何分短時日の旅行だから一寸ホテルに少憩して夜の急行で奉天に行くつもりである

滿鐵株主總會で議案全部を承認
けふ鐵道協會に開會

【東京特電二十日發】滿鐵の第二十九回定時株主總會は二十日午後二時丸の內鐵道協會において開催

一、昭和四年度事業報告書、貸借對照表、財產目錄及損益計算書承認の件

二、昭和四年度利益金處分の件

三、退職役員に對し慰勞金贈呈の件

四、監事改選の件

などを議題に供し仙石總裁の挨拶神鞭理事の營業報告などあり、決議事項を全部承認した

滿鐵昭和四年度營業成績の內容
けふ株主總會に提出

【東京特電二十日發】政府の認可を得て本日定時總會に提出した滿鐵の昭和四年度營業收支實績は左の如くである(單位千圓△印損)

種別	收入	支出	損益
鐵道	二三二、一〇四	一四七、三二四	八四、七八〇
港灣	一二、一三六	八、七七九	三、三五七
鑛業	八四、三六五	七二、〇九〇	一二、二七五
製鐵	八、八八〇	八、三三七	五四三
地方	四、六九〇	一八、二八八	△一三、五九八
總體費	—	一五、一〇六	△一五、一〇六
收支利息	七、一二四	二二、二一一	△一五、〇八七
雜損益	一、五〇〇	二、一六二	△六六二
社債差額補填金	—	一、三〇六	△一、三〇六
合計	二四〇、九九九	一九五、四九三	四五、五〇六

而してこれを前年度即ち昭和三年度の營業收支と比較するに三年度の收入は二億四千四十二萬七千圓同支出は一億九千七百八十七萬六千圓差引益金四千二百五十五萬一千圓であるから右四年度に對比し左の如き增減を示して居る(單位千圓△印減)

種別	收入	支出	損益
鐵道	三、四五五	二、八五六	[illegible]
港灣	一、四九一	一九五	一、二九六
鑛業	△二、八〇三	△三、四七五	[illegible]
製鐵	△八〇一	[illegible]	[illegible]
地方	△一、五三〇	△一、三二七	△二〇三
總體費	—	[illegible]	[illegible]
收支利息	八六三	五三〇	三三三
雜損益	△一三三	△四九九	三六六
社債差額補填金	—	△一、〇五三	一、〇五三
合計	五七二	△二、三八三	二、九五五

即ち收入において五十七萬二千圓の增、支出において二百三十八萬三千圓の減であるから結局損益計算においては二百九十五萬五千圓の益金增加を示した譯である

新職制に伴ふ市役所異動
けさ十時辭令を交附

大連市役所では廿日午前十時職制改正に伴ふ人事の異動を左の如く發表し即時夫々辭令を手交した

總務課長を命ず 主事 眞鍋 良助

社會課長を命ず、兼衞生課長を命ず 主事 杉山 虎雄

財務課長を命ず 主事 大久保忠一

收入役兼會計課長を命ず 主事 近藤 誠久

書記 武澤 芳雄

書記 青木 亮平

總務課勤務を命ず(各通) 書記 土屋 清人

衞生課勤務を命ず 書記 田代 直喜

會計課勤務を命ず 書記 須田 弘一

書記 大內 喜光

社會課勤務を命ず(各通) 書記補 入江 鍛

尙衞生課長の杉山氏兼任は前水上署長警視中尾大次郎氏の任命を見る事既定の事實であるが、目下中尾氏が內地に歸省中であるので正式の發令が遲れた結果でまた前記以外の書記および書記補は從前通りである

菱刈軍司令官は來る廿六日着任
直ちに旅大部隊巡視

新任關東軍司令官菱刈大將は來る廿六日うらる丸にて着任の筈で、着任後の初度巡視日割等左の如く決定した

▲廿六日午前九時上陸、埠頭貴賓室にて出迎者に應接、同四十分陸軍倶樂部にて小憩、午後零時四十分大連驛發旅順へ同二時五十分軍司令部會議室にて伺候式

▲廿七日軍司令部高等文武官に訓示挨拶廳內巡視、白玉山納骨祠參拜、關東廳訪問

▲廿八日滿鐵訪問、大連神社、忠靈塔・大連部隊初度巡視

▲卅日旅順部隊初度巡視、偕行社にて旅大及び柳樹屯官民招待

人事

▲向坊盛一郎氏(滿鐵計畫部次長)二十日入港ばいかる丸にて歸連

▲淺沼謙三氏(天野時計店員)同上來連

▲關鑑子氏(音樂家)同上

▲稻吉兼作氏(日本アスベスト重役)同上

▲樋口一雄氏夫妻(實業家)二十日下り機にて京城より來連

▲藤次清二氏(ツーリストビユーロー天津出張所長)同上り機にて東京へ

仙石總裁 けふ首相訪問

【東京二十日發電】仙石滿鐵總裁は二十日午前九時濱口首相を官邸に訪問し滿鐵の人事異動、職制改正・各滿鐵傍系會社整理等につき報告諒解を求めた後ロンドン條約樞府御諮詢に關し政府の方針等につき意見の交換を行ひ午前十時辭去した

新聞座談會 永代氏の招待

殖民地新聞事情視察の爲め渡滿中の新聞研究所長永代靜雄氏及常務理事村上儁氏は諸般の用務を了へ近く歸東するので留別を兼ね當地新聞界の主なる人々三十餘名を廿一日ヤマトホテルに招請して午餐會を催し食後新聞座談會を催す由

大觀小觀

若槻全權一行、宮中に召され光榮に浴す。

◇

とにかく世界史上に特記さるべき平和條約の締結に努力したのである。これによつて世界平和と國民負擔輕減の原則とが確立せられたのである。

◇

國民負擔の輕減、これ國民當面の問題であらねばならぬ。

◇

失業問題と政府の政策轉換、現實に立脚して必要とあらば、必ずしも形式に拘泥するの要なかるべし。政策は彈力性あつてこそ初めて眞の生命ありといふべきである

天氣豫報

廿一日(南西風) 曇時々晴但し所により驟雨模樣あり

滿潮 午前五時三十分 午後五時三十分

干潮 午前十一時五十分

物盜り？怨恨？痴情？ 九寸五分を揮つて
一名を慘殺、一名に瀕死の重傷
ゆふべ南山寮の慘劇

初夏の夜も更けた廿日午前二時ごろ市内南山寮獨身宿舍二階五十八號室で九寸五分の白鞘の短刀をもつて一名を慘殺し、一名に瀕死の重傷を負はせた慘劇があつた、犯人は兇行後全市に張られた警戒網を巧に潜つて姿を晦まし未だ逮捕されないが、現場に殘された短刀の白鞘と血痕の指紋を唯一の手掛りとして所轄大連署では全市警察署の應援の下に必死の捜査に努めた結果、ほゞ犯人の推定を得た模樣で指名犯人として手配が施されてゐる、犯行の目的は物盜り？怨恨？痴情の結果？

越口にうま乗り あわやひと刺し
救ひの聲に飛込んだ男に遮られ 犯人逸早くも逃走

午前二時ごろ南山寮二階五十八號室から「助けて呉」の唸き聲が廊下にもるゝを向側六十六號室の滿鐵々道部營業課勤務細村千勝（三〇）氏が聞き、不審に思ひ五十八號室を窺ふと何んたる凄慘！三十前後の男が滿鐵工務事務所勤務越口勇一（三）に馬乗りとなり血汐の滴るゝ短刀をふり上げて

咽喉笛　を一突にせんとしてをり、寢臺の下には鮮血にまみれて見るも無殘な即死を遂げてゐる男のあるを目撃し、夢中で室内に飛び込み越口に止めを刺さんとする犯人の襟首をとつて引き離した、犯人は廊下にヨロ〳〵とよろめき出るなり、血刀を提げたまゝ階下に逃げ何れかに姿を晦ました

終つた、胸部と背面腰部を刺された

被害者　越口は氣丈にも犯人を追跡するつもりであつたが約十間を離れた階段口まで犯人の後を追ひ力及ばずその場にバッタリ倒れたところを附近の者が馳つけ自動車で大連醫院に擔ぎ込み應急手當を加へたが腸が露出してをりなか〳〵の重態である、慘殺された男は市内大黒町建築請負村越三太方木工北村眞澄（二三）といひ肺部に深さ二寸、肺に達する

致命傷　四ケ所を受け、左手母指は斬り落されてをり、室内は鮮血ほとばしり凄慘を極めてゐた

寢靜まるを待ち侵入兇行
ハンドルに殘した血痕の指紋 既に犯人の目星つく

急報に接した大連署では時を移さず全員の召集を行ひ全市に非常線を張ると同時に尾崎署長、藤井司法主任以下現場に急行、高井檢察官と共に檢證を遂げた、犯人は十二時前、南山寮に入り込み潜伏し被害者二人の熟睡を待つて眞暗がりな室内に侵入したものらしく、最初寢臺を並べて就寢中の北村を

滅多斬　し、次いで悲鳴に驚き起き上つた越口の背面めがけて突き刺し抵抗の隙に重傷の北村は廢窓からすべり落ち戸口まで這ひ逃げたが遂にそのまゝ絶命した、一方越口に止めを刺さんとするところを細村氏に引留められ、騷ぎに紛れて逃走したものである、現場には短刀の白鞘が

鮮血に　染まつて殘されてゐるのみで物的證據となるべきものは見當らないが、階下玄關の引手に犯人の血痕指紋が鮮かに殘されてゐたので大連署鑑識係では直ちに指紋の採取を行ひ動かすべからさる證據としてゐる

有力視される兇行の動機
犯人は就職口を世話するのに誠意なしと不平を洩してゐた

大連署藤井司法主任は廿日午前六時大連醫院に收容中の被害者越口勇男の臨床訊問を行つたが、言語不通にて要領を得ず犯人及び兇行原因等に就いては詳かでない

犯人と　推定される市内逢坂町某カフェー女給の情夫で海軍上りの某――（三）――（特に名を秘す）は北村が最近の定期船で來連の際船中で知り合つた仲であるらしく、兇行動機として有力視されてゐる附近の者の噂を聞くに、

北村と犯人は來連直後、滿鐵工事務所勤務の被害者越口に對し就職方を依頼してゐたところ、約十日前北村は越口の世話で大黒町村越方に雇はれ、犯人は未だ職なく

徒食し　てをり、越口の行爲に誠意が無いと云つて不平を洩らしてゐたといはれてゐるから就職難の怨恨から斯る兇行を演じたものでないかと見られてゐる

兇行用の短刀
數日前に購入

犯人が兇行に使用した九寸五分の短刀は數日前同人が市内浪速町三九萬泉刄物店で購入したものであることが判明した

犯人は海員宿泊所に泊つてゐた

犯人某が七日以來宿泊してゐた市内寺内通の海務協會海員宿泊所では

あの人は七日以來ずつと泊つてゐましたが十九日夜も泊る心算で宿泊料二十錢を拂つてありましたがゆふべは歸つて來ません

と語つてゐた

北村は解剖に

慘殺された北村眞澄（二三）の死體は二十日午後一時から大連醫院に於て高井檢察官立會の下で解剖に附されたが、致命傷は胸部から肺に達する深さ二寸の刺傷であると

重傷の越口君は眞面目な男
勤め先の話

大連第二工事區事務所尾崎庶務主任は語る

越口君は酒も飲まず本當に眞面目な男でした、建築係でも模範的な男です、大正十二年入社以來ズッと今日まで過も無く働き前途を囑望されてゐました、同君と北村君との關係は全然知りませんが人に怨まれるやうな男でなく、十九日も何んの變りもなく出勤してゐました

おとなしい男だつた
北村の傭ひ主 村越氏は語る

慘殺された北村の傭主である村越建築事務所主村越三太氏は語る

北村は大工ですが柔順しい男でした、越口君も柔順しい男でしたが同君以上に柔順しかつたのです、越口君から頼まれて今月の十日から私の處で使ひ始めたので詳しいことは知りませんが十四日に五日分の給料を拂つたのを殆んど使つてゐませんでした、こんな點から推しても眞面目な男だと思ひます、今月の七日一人の友達と一緒に職を求めて來連したとかいつてゐましたその一人の友達といふのは機械工とかで十日私の留守に來て妻に就職口を頼んだそうですがそれ切り來ませんでした、兎に角若い男で末頼しく思つてゐましたのに惜しいことをしました、原籍は三重縣、横須賀で働いたこともあるやうです

たゞの喧嘩位に思つてゐた
兇行現場に飛込んだ 細村千勝氏の話

救ひを求める聲を聞きつけて兇行現場に飛び込み越口の危急を救つた滿鐵貨物課勤務の細村千勝氏は語る

私が五十八號室に行つたのは午前二時十分頃だつたが私のほかにも二、三人苦しいうめき聲を聞きつけ何んだらうかと怪しみながら廊下に出て來てゐた、まさか

殺人が　行はれてゐるようなどとは夢にも思はなかつた、五十八號室に飛込んだときは、室内は消燈されてゐたゝめ詳細な樣子は判らなかつたが、私の室から射込む光りで見たところ犯人は被害者の上に馬乗りになつてゐるやうでした、獨身宿舍のことであるから喧嘩位に思つて馬乗りに乗つてゐる男の左手を滿鐵工務課勤務の宮崎君（南山寮居住）が掴つてイキナリ引張つた、そのはずみでその男と私とは正面衝突をやつたが、そのまゝ

室外に　出たようでした、電氣をつけて見て兇行を知り宮崎君と二人で男の後を追ふたが廊下の突當りまでは犯人の姿も見えたけれど三階に行つたか寮外に逃走したか見失つたゝめ寮の人を起し被害者の室に歸つた越口君は室外に出でたまゝ廊下に倒れてゐたが「ヤラレタ醫者に電話を」といふのでそれ〴〵手配したがその後は全く意識を失つてしまつた、越口君は非常に温厚な人だから人に怨みを受けるようなことはあるまいと思ひます、殺された人は

名前も　知らぬ位だから詳細は判らないが越口君とは直接の友人でなく紹介された間接の知合ひらしいです、朝顔洗ふときなどよく出會つたが非常に内氣なおとなしい男のやうに私たちは思つてゐた、一週間ばかり前色の黒い餘り上品でもない三十歳がらみの男が越口君の室で職がなかつたから滿洲見物に來たと思つて歸るさなどの話もあつてゐたやうである、その男も殺された北村と同じ船で來連した樣です、犯人は何者であるか判らないが逃走の際「人を馬鹿にしてる」と云つてゐたとかボーイが話してゐたのを聞きました、なほ犯人の顏を室が暗かつたゝめ見なかつたが着衣は單衣のようでした

兇行の演ぜられた南山寮
＝五十八號室（印×）

ソプラノの唄女 關女史來る
『高さんとは昔からの樂友』 あすの音樂會に出演

「それはもう隨分大袈裟なお別れをして來たんですわ」

身體にピッタリ似合ふグリーンの洋裝で、ソプラノの名唄ひ手關鑑子女史は若々しい聲と社交的な物腰でぱいかる丸サロンで語る

上海には一度行つたことがあるんですが滿洲は初めてですわ、遠い滿洲に行くんだといふので私の出發の時なぞそれは隨分大げさな

お別れ　ですつかり目を泣きはらしてしまひましたわ、妹（關種子孃）から詳しく滿洲の樣子を知らせてくれたのと、セロの高さんとは昔からの樂友なので思切つて來たものです、レコードなぞでは滿洲の皆樣ともお友達ですが皆樣にお會ひするのは初めてなんですからそれだけでもこちらに來た甲斐がありますわ、何分よろしくお願みします

女史は出迎への爲め高翔吉氏、ヘティ夫人達が

打ふる　ハンカチに熱い友情を感じ乍ら上陸したが、さきに本社主催で關鑑子女史の演奏會日取が發表されるや、續々入場の申込あり今更女史の人氣の素晴らしさを如實に物語つてゐる

銅子兒十五貫の密輸犯捕はる

二十日午前五時芝罘より入港の第三十六共同丸を檢疫中、檢疫船小高丸の横付けせる反對側に潜かに舢舨を付け何物かを持出さんとするのを檢疫中の水上署張巡捕が發見、朝の海上をあなたこなたに逃げるを小高丸で追驅けフイルムそのまゝの情景を點出して遂に逮捕したが銅子兒十五貫を舢舨と共謀密輸せんとしたもので、犯人は山東生れ李長白ほか三名

全滿殉職者慰靈祭
けふ盛大に執行

滿洲神職會主催の全滿殉職者慰靈祭は廿日午前九時より滿鐵社員倶樂部大食堂において執行されたがその次第は修祓、獻饌、降靈、祝詞、昇靈、撤饌でその間奏樂の順序で參列者は太田關東長官代理三浦内務局長、陸軍代表三宅參謀長海軍代表久保田駐在武官、神田大連民政署長、粟野滿鐵地方課長、中西同人事課長その他多數知名士及び遺族等全部で三百餘名にのぼり頗る盛大裡に同十時終了した、また式後滿洲神職會創立十周年記念式が擧行され、太田關東長官、仙石總裁其他の祝辭が朗讀された

南北支の比較研究が今次旅行の收獲
關東廳高等科生一行 けふ奉天丸で歸連

關東廳警官練習所高等科生廿二名を引率して南北支那を視察旅行中であつた警部酒井碩二氏は、練習生一同と共に廿日入港奉天丸で歸連したが語る

三日に大連を出發して天津、北平、背島、上海に行つたもので北支、南支をよく比較研究することが出來たのが今次旅行の收獲だつたらう南京にも行つたが新興支那政府の所在地としては隨分田舍臭いものに感じられた

一時に

對日感情　はよかつたが、蘇州の福商生徒の被害事件にぶつかつて今更ら「支那つて國は解らない國だなあ」と考へさせられた、南京上海は今次の戰爭で大して騷いでゐなかつた、上海での張靜江氏談によると何れも有識の士は和平解決を望んでゐるやうに見受けられた

因に一行は十六時發列車で歸旅した

滿洲最初の試み 全滿リレー大會
出場の主なる選手

【撫順特電二十日發】二十二日午前十時より撫順永安臺トラックに於て擧行される撫順體育協會主催の全滿リレー大會は滿洲最初の試みとして斯界より大なる期待を以て迎へられてゐる、しかして第一部は大連アスレチック倶樂部が優勝チームとして目されてゐるが奉天撫順も侮り難く、第二部では工專、旅順のうちいづれかが優勝するものと見られてゐる、なほ本社寄贈の優勝盃は第一部四百米リレーに授與されることになつた、因に各競技出場の主なる選手は左の如くである

百米大連小須賀、岡、中村、奉天今井、撫順田中（二部）旅順上倉、鞍山出中、育成多田、工專高木（二部）▲四百米大連濱田木田、三隅、秋重（一部）育成多田（二部）▲千五百米大連永谷大籔、八重樫、奉天成毛（一部）柴田（一部）▲砲丸投大商白石、旅順上倉（二部）奉天川野、撫順西村（一部）▲圓盤投同上▲槍投撫順岡田、奉天川野、大連星名▲走巾跳撫順柴田、大連岡（一部）▲走高跳撫順柴田（一部）旅順最上、鞍山川崎（二部）▲棒高跳、撫順淺坂、奉天伊藤（一部）工專西田（二部）

少女を救つて表彰

沙河口管内香爐礁第三區六番戸居住の郭連貴堺郭富（一六）は、十八日午後零時半ごろ香爐礁第三區南方海岸において海水浴中誤つて深間に足を辷らし苦悶中、折よく同所を通り合せた同地居住の漁業劉明傑（一八）が救助したため漸く蘇生したが、沙河口署では劉を人命救助として近く表彰すると

畑遺族より謝電

畑軍司令官の遺族から二十日本社宛左の入電あった
安着御禮、皆樣へよろしく

足場を踏み外して苦力三人が重傷

十九日午後四時半第一埠頭四番バース繋留中のS・Sフエクター號で支那人苦力山東生れ叩正發（二一）同李更仁（二八）同馬榮日（三五）の三名が、最上甲板に足場板を渡し鐵材積卸作業中、叩が足場を踏みはづし五十呎の船底に墜落、その煽りで他の二名も墜落それ〴〵骨折打撲の重傷を負つた

ストライキ女給元の古巣へ

さきに「妾等は雇傭條件に不服であります」と、斷然大連カフエー界最初のストライキを斷行した連鎖商店内の自由亭女給も最近再び同亭にて働くことゝなり、廿日正式に小崗子署へ再認可願を出したとになつた

大連道場の月次柔道大會
七月六日擧行

大連道場柔道部では來る七月六日午前九時から大連道場で左記規定に從ひ月次柔道大會を開催することになつた▲申込場所滿鐵本社學務課運動會▲申込方法身長體重、年齡、級段を明記の上七月三日までに申込みのこと

なほ試合方法は幼年、青年組に分ちまた申込後無斷缺席したるものは次回大會の出場を許さず、今回の試合の成績に依り進級を許すことになつた

艶色生膽祕譚 (148)

伊藤松雄作　河原緑龜太郎畫

辻斬(一)

「どなたもお歸りがないやうだ！」

お力婆さんは植込越しに、離れの方をちらり見やつた。

「關川樣には鑑識の相、左近樣には女難の相、ありくと見られた……それもお二人の相、とりかはつてでもゐたなりや當然かも知れぬが……はて氣にかゝる、何事もなくてくれゝばよいが……」

澄りは風もなくぶきみにシーンと靜まり返つてゐる。

と、玄關を訪ふ聲――。

「おゝ誰方か御見えになつたやうだ……」

行衣の襟をかき合せてゐると、そこへ小女が、摺足して入つて來た。

「まだお若い御姉弟の樣なお二人

まして」

「ではお通し申したがよい」

案内されて入つて來たは、妙香に欣彌の二人だつた。

初對面の挨拶がすむと、早速要談にかかつた。

「さがし人でございますが」

妙香は凜然と云つた。

お力はその瞬間妙香の面上に、劍難の相を認めたので、

「仇討の身かな？」

さう察したのであらう。

「お武士でございませうた？」

「はい……」

「お名前は？」

「仔細あつて申上げられませぬ」

「では、一心こめてその方を御念じ下さいまし」

云ひ終るとお力、襷をとりあげサツ、サツときよめ祓ひ、やがて精神一統を試みるのであらう、双掌をくみ合せて半眼のまゝ白木机に据えた鏡の木箱へ身をもたせかけたが、いつもの如く心氣一點に凝つては來ない。

「はてお痛はしい、この妙齡なお嬢樣に劍難の相とは……」

御判斷を頂きたいと申され

これが離念となつて邪げをなすのだつた。

いつたん眞赤に燃えあがつたお力の顏、やがて蒼白におちつき來ると、タラくと額から油汗したゝり、全身異樣に硬直の狀態に陷つて唸いた。

「うーむ」

妙香はこの機を外さず欣彌を顧み、心靜かに訊ねた。

「宮川左近樣でございますか」

「おゝ！」

お力は武張つた口吻で問ひに答へる。

「どちらにお住居でゐらつしやりませう？せめては一度お逢ひ申したく……」

「や、われらが住居は明しかねる、それにいまとなつてはそなたと敵味方ぢや、呪ふても足らぬ憤怒を

さへ感じて居るのぢや」

「え？」

妙香は意外な言葉に息をのむ。

「すりやまた何故でござる？左近樣、あなた樣は必ず何か思ひ違ひをなさつてゞ御座りますぞ、どうぞこの頃の御樣子せめては一端なりともお明し下されませぬか？」

今度は欣彌が膝を進めた。

「は、は、は、逢ひたくば吉原堤へござれ、夜毎に彷徨いたしをるわ、心に鬱積する憐みを散ずるためにな、さげすみなさるがよいわ――辻斬、辻斬に限るて……」

……」

妙香は涙をためてその聲をきいた。

欣彌も返す言葉がなかつた。

しばらく沈默がつゞくと、お力

の纏身から、グッタリ力がぬけ去り、もとの姿態にと戻つた。

「如何でござりました、よいおしらせが出ましたかな」

「は、はい」

欣彌はもぢくしてゐたが、

「巫女殿、いま一度、寄せて頂きたい、これも武士ぢや」

「――」

お力は念を押すやうに欣彌の顏を見つめた。

「宮川右近と申さるゝ仁ぢや・年の頃は廿七八歳……」

お力はハツとした。

「あツ、右近樣を……」

思はず唇に出しかけた。

明晩に迫る音樂と舞踊の夕

セロとソプラノとダンス　面白いプログラム

本社主催大連滿鐵社員俱樂部後援の「音樂と舞踊の夕」はいよく明晩に迫り非常な期待を以て迎へられてゐるが、出演者はセロの天才高勇吉氏及び舞踊家ヘテイー夫人に別項記載の如くソプラノ歌手の關鑑子孃が本日入港のばいかる丸で來連し三人の顏觸れが揃つて開演を待つばかりとなりプログラムも左の如く決定した

第一部

1、ピアノとセロ二重奏
　歌劇「魔笛」主題に據る七つの變想曲……ベエートーフエン作

2、ソプラノ獨唱
　(イ)鱒……シューベルト作
　(ロ)我夢に泣きぬ……シューマン作
　(ハ)マリアマリ…カプア作

3、セロ獨奏
　惡魔大幻想曲……フイツエンハーゲン作

4、ソプラノ獨唱
　(イ)歌劇「カルメン」より(ヂプシーの歌)……ビゼエ作
　(ロ)歌劇「カルメン」より(ハバネラの歌)……ビゼエ作

5、セロ獨奏
　(イ)プレリユード……ラハマニノフ作
　(ロ)泉のほとり…ダヴイドフ作
　(ハ)ヴイトー……ポッパー作

6、ソプラノ獨唱
　(イ)城ケ島の雨…橋本國彥作
　(ロ)この道……山田耕作作
　(ハ)柳のわた……山田耕作作
　(ニ)離れ小島……弘田龍太郎作
　(ホ)ほうほう螢…弘田龍太郎作

休　憩

第二部

舞　踊

1、歌劇「アイーダ」中のバレー……ヴエルデイ作
2、春の雨……フインク作
3、人形の踊……シユーベルト作
4、歌劇「ファウスト」中のバッカナール……グノー作

尙會券は二十一日朝より社員俱樂部事務所に於て前賣を開始するが今秋まで協和會館におけるこの種の催しのお名殘といふので素晴らしい景氣であるから賣切れぬうちに本紙刷込割引券を利用して座席券と交換されたい、また高勇吉氏のセロ獨奏及び關鑑子孃のソプラノの獨唱のピアノ伴奏者はメデベデフ女史に決定した。

◇◇三人の母◇◇　一人の幼兒をめぐり織り出される母性愛を取扱つた帝キネ得意の現代劇、歌川八重子、千草澪子、平塚泰子、尾崎靜子、間英子、鈴木勝彥らが出演し監督は曾根純三で小笠原白也の原作「三人の母」の映畫化【演藝館上映】

> **音樂と舞踊の夕**
> **出演者**
> セロの名手　高勇吉氏
> 舞踊家　ヘテイー夫人
> ソプラノ歌手　關鑑子孃
> 會期　六月二十一日午後七時半
> 會場　協和會館に於て
> 會費　一般二圓　讀者一圓五十錢
> 主催　滿洲日報社

> **音樂と舞踊の夕**
> **讀者優待割引券**
> 六月廿一日午後七時半滿鐵協和會館に於て本券持參者に限り一圓五十錢
> 主催　滿洲日報社

> **音樂と舞踊の夕**
> **讀者優待割引券**
> 六月廿一日午後七時半滿鐵協和會館に於て本券持參者に限り一圓五十錢
> 主催　滿洲日報社

遠山滿一黨　二の替

森の石松上演

大連劇場に開演中の遠山滿、小原小春一黨の劍戟劇は久々の來演で人氣を呼んでゐるが、今廿日より左の如く二の替り狂言を出すが、そのうち森の石松は遠山の當り狂言として期待されてゐた呼物である

第一　地藏殺の由來
第二　沓掛時次郎
第三　森の石松

七月號の日活畫報に片岡千惠藏と仲良くならんで長大日活館主が嚴然寫つてゐる▲これで一つオトウサンの存在を大々的に宣傳するに限ると興タレどもが寄つて飛んだ建策をする▲も一つお芽出度い話――昨日の朝からとても爽かな氣分になつて林大日活子が飛び廻つてゐる▲どうした譯かと聞けば「久振りで腰が輕くなりました」といふがこれは他人にはわからない▲演藝館の「三人の母」はこの世の凡ゆる母ッさんに向くと氣勢をあげてゐるが▲なる程、實母か、養母か、繼母以外におつ母さんはあるまい▲夏川靜江とすつかり仲の良くなつた畑部平太さん、今度は八月は撮影の都合で行けませんから七月に大連へ行けるやうにとの手紙を受取り▲是非來月に招んでやつて欲しいと大日活へ懇談に及び、どうやら實現しそうだといふから其内に挨拶の神樣になる

大連　JQAK　六月二十一日午後七時三十分
▲ラヂオ體操
▲講話（獨逸語講座に就て）大連語學校講師荻桑

東京　JOAK　六月二十一日午後六時二十五分
▲講演（全國職業指導デーに際して一言）文部大臣田中隆三
▲浪花節（宇都宮釣天井）玉川太郎
▲浮世節（一）三下り五月雨（二）鶺飼して（三）かんさうじよ（四）都々逸（五）おほかゑ立花家橘之助
▲掛合噺（夏祭）笑福亭鶴造、橘ノ一圓
▲ピアノ獨奏（水車の歌）大連音樂學校選科生徒前川啓子
▲講話（時間の活用に就て）公正社長兼井林藏
▲箏曲（六段）尺八名和榮二郎、箏渡邊靜溪
▲支那唱（空城計）、唄于亥亭師付王振泉
▲料理獻立
▲天氣豫報

滿洲日報

社説

不景氣の正體と緩和の限度

[illegible]

……る次第であるが、今日の不景氣は何人も否認し能はぬところ、殊に一局部の不景氣でなく、世界一般の不景氣である以上、離れ小島に中間景氣の夢を貪ることも不可能であり、また何時、方向を轉換して可なるものなるや、その邊は對照が生物であるだけに頗る測定に困難を感ぜざるを得ぬのである。

一體、不景氣とは何ぞやと反問されると何人も具體的の説明に躊躇するくらゐのもので、消費が減退した事實を擧ぐるの外なく、その邊は經濟心理學の範圍にも入るべく、測定するに尺度なく、尺度あつても標準となるべき尺度ないといつたのが不景氣の正體である

◇

根本方針は無論、易へる必要はないが、經濟界が生物である以上現實に立脚して失業對策を講ずるぐらゐのことは已むを得ぬのではあるまいか。主義政策に囚はれて事實に盲目であつてはならぬ。如何に主義政策だからとて生きて行けぬやうでは困る。經濟組織も歸するところは人間の生くべき方法としての集團に外ならぬのである角を矯めんとして牛を殺すの愚を演じてはならぬ。ただ最も警戒すべきは中間景氣を作爲して不景氣の餘波を愈々益々深刻ならしめてはならぬ。根本精神を損はぬ程度において出來得るだけの緩和を圖ることは決して惡いことではない筈である。まして今日の如く失業問題が深刻化して來たからには何物を措いても何とかせねばならぬ。人氣とか不人氣とかで政府の方針を易へたりしてはならぬが何よりも現實を視ねばならぬ。それが現實に立脚して彈力のある方策を講ずることも決して惡くないことである。政府は整理節約の看板を掲げたからとて、何もそれに膠着して硬化さする必要はない。形式に囚はれずに眞實を摑まねばならぬ。しかも最も小さな岐路に立つてゐる。根本方針は改更してはならぬが如何なる程度の緩和に出でんとするか、われらは現實に即して方針の行方を觀察せねばならぬ。たゞ最後まで警戒せねばならぬことは濫りに中間景氣を發生せしめぬことである。

大した波瀾もなく 滿鐵株主總會終る

退職慰勞金問題は理事會に一任 監事悉く重任決定

【東京特電二十日發】滿鐵株主總會は二十日午後二時八分開會、會社側より仙石總裁、神鞭理事、竹中經理部次長、橋本經理課長その他、並びに馬越、大藏、原、湯川の四監事、政府側から滿鐵監理官殖田殖産局長、その他株主約二百名出席、劈頭仙石總裁議長席につき

六月二十日現在の總株數八百八十萬株、人員一萬九千六百六十二名、本日出席は委任狀を合はせて株數六百七萬六千七百五十……

……を表しここに全部贊成すと述べるや異議なし「採決」「採決」と叫ぶもの多く、而も議長は直ちに採決に移らず尙株主の發言を待つ、よつて株主緒方䄇藏氏只今の御報告中軍人會館寄附の件は一回に寄附したのかそれとも年度割にしたのか御説明を乞ふ

と質問、神鞭理事

それは總額一百萬圓を四年度に於て一度に支出した

と答ふ、株主有川常藏氏は……

不注意も しくは見込み違ひから多少ないとも冗費を要したとすると甚だ遺憾である、最近鞍山の改良工事につき何かカレコレ新聞記事が出てゐたやうだがこれにつき御説明を乞ふ

と質問するや、總裁は質問の要旨を聞きあやまり、問題の昭和製鋼所については政府側と交渉中であることを説明したので有川氏より重ねて質問あり、これに對し神鞭理事は

その鞍山の改良工事といふのは……百噸爐を一基新設しそれと同時に各種の設備、いろ〳〵改良を要する點があつて最初の豫算よりいくらか金額が多く入用になつた、しかもその

豫算認可 を政府に仰ぐ手續につき多少遲れたので新聞で……ない、しかし事實がもし當事者の……かれこれ書いたものと思ふ、しかし事實は皆改良工事として必要なものであり、決して冗費ではないから政府でも直ぐに認可を與へられ工事は無事に進んで居る御安心を乞ふ

と釋明、かくて採決に入り滿場一致可決承認、次ぎに「第三退職役員に對し慰勞金贈呈の件」を附議し株主中谷庄平氏より議長一任の提議あり、理事會一任と訂正採決に入らんとするや株主小澤太兵衞氏

理事會に一任贊成だが一言伺ひたい、滿鐵では現在社員の預り金を一千五百萬圓持つて居り、これに年八分四厘の高利を附して居る、しかも從來の慣例では退職者といへどもその恩典に浴して居るが、これらの人の中には既に滿洲にゐない者も或ひは死亡したものもある、それらの

利息だけ でも年額二百圓乃至二百五十萬圓を支拂つてゐる、今回の退職者も多分その恩典に浴すると思ふが果してその必要あるや否や

と質問、神鞭理事

事實はその通りだがこれには長い歷史もある、主旨も滿洲にまで働きに出たものに恩典を與へやうといふにあつた、しかし御注意でもあるからこの點は充分考慮しやう

と答へ採決に入り理事會一任に決定、第三監事改選の件は全部重任に決定、かくて大した波瀾もなく總會は無事に終つた

滿鐵の昭和四年度 損益計算と利益金處分

【東京二十日發電】滿鐵の昭和四年度損益計算書並びに利益金處分案左の如し(單位千圓)

損益計算書

項目	金額
一、本年度總益金	二四〇、九九八
内譯	
鐵道收入	一二二、一〇四
港灣收入	一二、二七六
礦業收入	八四、三六四
製鐵收入	八、九四〇
地方收入	四、六九〇
收入利息	七、一二四
雜益金	一、五〇〇
一、本年度總損金	一九五、四九二
内譯	
鐵道經費	三九、七九三
港灣經費	七、七九〇
礦業經費	六八、五二四
製鐵經費	七、七二七
地方經費	一六、七五八
總體費	一四、八三八
支拂利息	二三、二一一
雜損金	二三、二一一
資産銷却費及び除却費	七、四四四

利益金處分

項目	金額
差引利益金	四五、五〇六
一、本年度利益金	四五、五〇六
一、前年度繰越金	一〇、一九四
合計	五五、七〇〇
内	
法定積立金	二、二八〇
政府配當金(年五分三厘五毛)	一七、一〇七
政府以外の株主配當(年六分)	一一、五〇九
同上第二配當(年五分)	一〇、二〇〇
特別積立金	八、五〇〇
社員退職給與積立金	一〇、〇〇〇
役員賞與並びに交際費	二、〇〇〇
翌年度繰越金	一〇、五六一

滿鐵理事の後任 伍堂中將に決定

殘る二名は近く選定

【東京二十日發電】齋藤理事辭任決定による滿鐵理事三名の缺員後任につき仙石總裁は十九日午後松田拓相を訪ひ協議した結果、一名は昭和製鋼所社長伍堂中將に決定し他の二名は近日中に兩者會見選定するが、副島昭和製鋼所専務、林奉天總領事、安田大連汽船社長、林滿鐵煤礦部次長、山西同地方部次長等が下馬評に上り、そのうち安田大汽社長が最も有望視されてゐる

各關係者 招待會

【東京特電二十日發】滿鐵東京支社では十九日夜大株主三十餘名を二十日夜大藏、拓務、外務の各關係官をそれ〴〵招待して今期決算に關する挨拶をなし、また二十一日夜は社員の慰勞會を東京劇場において開く豫定である

仙石總裁演説

【東京二十日發電】本日滿鐵株主總會に於ける仙石總裁の演説左の如し

會社の經營に關する事項を報告します、之れは前總裁より私が引繼を受けた事項並びに前總會に於て前總裁の演説中の懸案事項であります

業務分離組織の件

(イ)、大連農事株式會社(昭和四年中設立濟み)事業開始、本年五月までに自作農二十九戸、小作農七戸收容

(ロ)、日本製蠟會社(昭和四年度中設立濟み)本年七月試驗運轉の豫定

(ハ)、南滿洲住宅會社の設立計畫(政府より申請書返戻の儘)

(ニ)、南滿證券會社(政府許可濟なるも其のまゝ中止)

(ホ)、鞍山製鐵所獨立の計畫(政府許可濟なるも其のまゝ中止)

新事業計畫の件

(イ)製鋼事業 昭和製鋼所(昭和四年度中設立濟み)機械一部註文濟み、工場建設未着手

(ロ)、肥料製造事業、硫安製造の計畫、特許權の買收は前總會にて報告濟み、機械一部註文濟み計畫踏襲

(ハ)、製油事業

一、オイルセール事業、昭和四年十二月より工場一部運轉開始、本年五月より工場全部運轉す、成績良好

二、石炭低溫乾餾事業、試驗濟みなるも未だ企業化する時期に達せず

三、石炭液化事業、海軍と協力して研究中

(ニ)、各地に於ける貨物集配設備

一、大連甘井子石炭棧橋築造、大部分竣成、本年七月一日より一バース營業開始の豫定、全部完成期本年十一月の豫定にして全部に於て一萬噸級船舶四隻繫留し、石炭積込能力一日最大一萬六千噸

二、鶴見日滿倉庫會社(昭和四年中設立濟み)東京灣埋立會社より用地として埋立地六萬四千三百坪買收し政府に埠頭築造工事の許可を申請す

三、大阪に埠頭築造計畫、大阪市の埋立地借受交渉成立、政府本年度事業費追加豫算申請中

四、名古屋海岸埋立埠頭築港計畫愛知縣當局と下交渉し大體の諒解を得たるも其のまゝとなつて居る

五、阪神築港、兵庫縣鳴尾地先埋立事業、阪神築港會社株式引受け濟み、資本金一千萬圓拂込金三百五十萬圓、内滿鐵引受け四百萬圓にして百萬圓拂込み濟み政府に埋立工事許可申請中

會社の營業に關する今後の見込

會社の營業に關する今後の見込については何人も的確に之を豫想することは出來ぬが、現今の一般的財界の不況及近時ます〳〵露骨になり來りつゝある支那側鐵道の競爭的態度等より來る影響に關して甚だしく危惧の念を抱かるゝ向あるやうに想像されますから一言申し述べて見度いと存じます

東支鐵道 および浦鹽との競爭關係は永年のことでありまして現今は東支鐵道に對しましては或る種の運賃協定をやり、浦鹽港向の貨物に對しては數量協定をやりまして双方收入の均衡を圖ることにして居りますがなほ進んで有利なる協定をやり度いと努力して居ります

支那鐵道 との競爭關係は近年の事でありまして近年御承知の通り會社の東西に支那鐵道が出來まして競爭的態度に出て居りますが、適當なる呑吐港がないため未だ大した影響を現はして居りません、近頃承るに葫蘆島の築港も計畫通り進行しても五、六年はかゝることゝ思ひます、假りに該築港完成の後と雖もその頃には自然增加する運送も少なくないと存じます、又會社は周到の競爭力を持つて居るから左様に悲觀するにも當るまいと存じます

一般經濟界 の不況は滿洲に於きましても著しく影響して來ました、殊に銀相場の下落は支那人に對しては多大の影響を與へ滿洲にても現に倒產者を出してゐる狀態で會社の收入につきましても旅客及小口貨物運送の減收を始めとして石炭、鐵鑛の賣行不振の結果、相當の減收を來すことゝ存じますが、出來得る限り收入增加及經費節約の途を講じてこれを補足したいと存じます、先般も甚だ好ましからざる事ながら多少人員の淘汰を斷行し職制に改革を加へて緊張氣分を以て社務に服してゐる次第でありますから株主諸君も幸ひに事情を諒とせられて何とぞ御援助あらんことを希望致します

營業概況の報告

神鞭理事の演説要旨

【東京二十日發電】神鞭理事は總裁に代つて左の如く營業概況につき報告演説をなした

本年度の 營業收入は二億四千九十九萬圓、營業支出は一億九千五百四十九萬圓差引四千五百五十萬圓の純益であつて、これを前年に比較すると營業收入は五十七萬圓を增加し、支出は二百三十八萬圓を減少して結局純益に於て二百九十五萬圓の增加を見たのである、この純益金の外に二千百十六萬圓は資産の銷却に當てられてゐるから之を合計すれば總益金は六千六百六十六萬圓であつてこの内より株主配當金等の三千八百五十五萬圓を差引き三千五百八十一萬圓といふのが積立金その他所謂社内保留と云ふことになる、その他會社の

積立金は 本期に於て法定及び特別の積立金並に繰越金等を合計して一億九千九百萬圓に達する次第である、各種事業に對する收入支出の内譯は御手元に差上げた別紙計算書記載の通りであつて、今その主要なるものを述べると鐵道の純益は七千四百八十九萬圓で前年度に比し六十一萬圓の增加を示してゐるこれは北滿南下貨物の增加ありまた石炭輸送數量增加したゝめ運賃收入は三百四十六萬圓の增加を見たのである、收入增加に伴ふ諸經費及び車輛その他の補修費等に於ては二百八十五萬圓の增加があつたので結局前陳の

純益增加 となつたのである港灣に於ては三百五十五萬圓の純益を見たがこれを前年度に比すれば百九萬圓の增加となつてゐるのである、これは大連港に於ける輸出入貨物の增加に伴ふ自然增收百四十九萬圓ばかりこの增收に伴ふて經費の增加四十萬圓、差引前陳の純益增加となつた次第である、礦業の純益は千二百二十七萬圓であつて前年度に比較すると六十七萬圓の增加を來たして居る、石炭は本年度は殊に末期になりましては不況であつて收入二十八萬圓の減收であつたが、山元生產費の低減等によつて差引き前に申せし通り純益の增しを見る事を得たのである、製鐵業の純益は五十四萬圓でありまして前年度に比較すると六十七萬圓の減少となつた、これは

財界不況 に基づくものである、地方損益に於ては結局純損に於て四十萬圓の增加といふ事になり主として地方公費補給費その他增加によるものである總體費は本年度に於いては軍人會の寄附及び東亞經濟調査會に對する寄附二百萬圓の特別支出あつたに拘らず前年度に比し……十三萬圓の增加にとゞまつた、その他收支利息に於いて三十八萬圓の利益增加雜損益に於いて三十七萬圓の利益增加、社債差額補塡金におきまして百二萬圓の支出減少を見てゐる次第である、次に四年度支出の事業費の大要を申上げるが、鐵道にては複線工事、線路改良及車輛等に千九百三十萬圓を支出した、港灣に於ては

大連港の 對岸甘井子石炭積込設備を設け、埠頭構内倉庫を新設したるなどに一千萬圓、礦山に於ては露天掘及び坑内設備その他に於て九百四十萬圓を支出した、製油工場に於ては乾餾工場及重油工場の新設その他に四百萬圓、製鐵所に於ては五百噸爐新設その他に七百萬圓を支出した、地方施設に於ては市街用地、學校、醫院その他の公共施設に六百九十萬圓の支出をなした、雜施設として社宅倉庫の新設等に五百九十萬圓を支出したから總計六千三百七十萬圓の事業資金は拂込み金及社内留保金を以て之を支辨し昭和四年度中には社債は一切募集しなかつた

剩餘金は主として 減稅と產業振興に

民政黨が實現に努力

【東京特電二十日發】若槻全權に對する國民の白熱的歡迎は全く國民が軍縮會議に對する政府の方針を支持するを示すものとして民政黨では頗る意を強くし政府はこの機會にあらゆる策動を排し堂々臨時議會に臨み暑休前に條約案の通過を期すると共に進んで國家適切の政策遂行に努むべしとなしてゐる即ち軍縮剩餘金は主として減稅に充てるに方針が定つてゐる以上、海軍側の意見如何に拘らず政府は強硬な決意を以て斷行し減稅の目標としては織物稅、砂糖消費稅、營業收益稅に求むべく又海軍と共に陸軍も極力整理節約を求め、その財源を以て失業救濟に資すべく更に財界對策として郵便貯金利子引下げ、產業合理化、國產品愛用、金融機關改善等產業振興に向つて政府の根本方針に抵觸せぬ限りの積極方針を採るべきであるとの趣旨を以て各委員會にて研究をなすと共に成案を得次第、政府に進言し是非、來年度よりこれが實現を期すべく意氣込んでゐる

海相、部長の覺書 事務連絡が目的

政府とは全く無關係

【東京二十日發電】兵力量決定に關し財部海相が十九日參議官會議において軍令部長と覺書につき意見を交換したが右に對し政府側はその覺書は單に兵力量決定の際における海軍部内の事務上の連絡協調につき申合せたものであつて統帥權その他憲法上の解釋に關するものでない、從つて政府とは全然無關係の事柄である、故にこの覺書が政府に正式に手交さるべき筋合ひのものでもない、又この覺書中所謂海相と軍令部長との意見一致あるべき事といふのも若し兩者の意見一致を見ぬ場合は海相としては軍令部長の更迭に依り一切を解決し得るとの意味を内藏するもので今回のロンドン條約の回訓決定の際における手續に關し政府の非違を指摘する結果とはならぬものである、との意見を有し樂觀の態度を示してゐる

仙石總裁が 首相を激勵

緊縮政策轉換論について

【東京二十日發電】仙石滿鐵總裁は今朝濱口首相と會見したが、その際最近傳へらるゝ緊縮政策轉換論につき斯くの如きは日本人の短所缺點を暴露するもので好ましくない、今少し辛抱すれば財界も立ち直るのであるからこの際政策轉換等をせず從來の方針を貫徹する事に努めるが肝腎であるとて首相を激勵する處があつた

天津海關乘取りで 國民政府對外聲明を發す

【上海廿日發電】閻錫山氏の天津海關乘取りに對し王正廷氏は廿日左の對外聲明を發表した

閻錫山は過日英人シンプソンを派し强制的に天津海關を占領したが、國民政府は既に關稅自主を實行して居るので今回の事件に對してもこれを國内的に解決するに決し左の處置をとり又は執らんとしつゝある事を聲明す

一、國民政府は近日中に命令を發し直ちに天津海關を取消す

二、國民政府は軍艦を大沽沖に派し今後一切の商船の天津港出入を禁止す

三、從來天津稅關を經由して居た輸出入品に對する稅金は爾後靑島、大連、秦皇島等の各稅關をしてこれを代行受理せしむ

四、天津海關の舊職員は財政部に命令して他に轉任せしむ

五、英人シンプソンの行動は國際公法の規定中「居留外人が其の國の政變に對する反逆行爲を援助する時は該外人の驅逐を主張するを得」とあるに該當するを以て外交部は英公使に對し十九日附シンプソンを支那より永久に退去せしむる事を要求した

六、天津海關取消しにつき外交部は十九日關係國に對し正式通告を發した

隴海線方面の南軍 最後の總攻擊開始

蔣氏敗戰せば廣東へ

【天津特電二十日發】蔣介石氏は本日から隴海線に對し攻勢に轉じ目下、猛烈に攻擊中である蔣氏はこの一戰を最後の一戰と覺悟しこの一戰に敗るれば廣東に落ち延ぶべく既に浦口に船を用意してゐる

濟南在住外人の 生命財產を保障

【上海二十日發電】濟南居住外人保護問題に關し蔣介石氏は本日王正廷氏に左の訓電を寄せた

濟南は北軍のため絕對陷落せしめられざるやう中央側の準備は充分整つてゐる、故に總ての濟南在住外人の生命財產保護に關しては國民政府はその全責任を負ふものであることを各國公使に再度通告すべし

右に基き王正廷氏は本日午後各國公使にその旨通告を發した

青島市長に 胡若愚氏

學良氏抱込策か

【南京二十日發電】本日の黨務會議は靑島特別市長に奉天派の胡若愚氏を任命することを正式に決定した、右は曩に蔣介石氏の命を受け奉天に使ひした李石曾、方本仁、吳鐵城氏等が張學良氏抱込策として獻策した結果で、これにより中央側は山西軍の進出を牽制し進んで蔣介石、張學良兩氏提携の基礎を作り時局を有利に導かんとするものと信ぜられる

減資問題で 惱む五品

けふ株主總會を開催協議

大連五品取引所の整理に關しては屢報の通り關東廳より去る二月十日營業繼續の認可と共に附帶條件として整理期日を來る七月末日までと限定されてゐるが、今日に至るも整理の具體案決定せず、同社株主及び取引人は勿論一般財界においても甚だしく不安を生じ、株主間には早くも現理事者の

不信任 の聲も昂まりつゝある狀態にある、右は五品理事者間において減資額に對する意見の相違を生じたるためで、關內理事長及水谷常務は五品の現有財產よりみて資本の半減による整理原案を作成した模樣であるが、右に對しては河村理事が六百萬圓說を固持して反對するに至つたので、水谷常務は一應關東廳の意嚮もたしかむる必要から資本六百萬圓とする減資案及び之に伴ふ整理案を作成し過日來數回に亘り

關東廳 を訪問し說明するところありたるも、當局は飽くまで徹底的整理を希望するが如き態度あるに鑑み、水谷氏は六百萬圓案を提出する譯にも行かず一面理事者間に意見の統一を缺ぎ整理も遂に行惱むに至つたので、この上は株主の意見を徵し、減資額を決定するの外なしとして水谷常務は二十一日午後三時から五品取引所において株主會を開き右に關する協議を行ふと

長澤關東廳技師退官

【東京二十日發電】二十日附をもつて左の如く辭令の發表を見た

依願免本官 關東廳技師 長澤圭吾

關東廳辭令(二十日付)

博物館長を命ず 津田元德

關東廳事務官 御影池辰雄

博物館長事務取扱を免ず

博物館主事兼任を免ず

辭令【東京二十日發電】

領事兼朝鮮總督府及關東廳事務官 宇佐美珍彥

任外務書記官命通商局第二課長

人事

▲山領貞二氏(滿鐵鐵道部工務課長)新任挨拶の爲廿日市內各所歷訪

▲石村長七氏(大連保線事務所長)同上

▲清水賢雄氏(總務部考查課員)同上

安眼鏡子

年々アメリカの蛙ファンの血を湧かせて居る蛙の幅飛び大會は過般カリフオルニヤ州アンゼルス・キヤンプで擧行された▲觀衆三萬シヤキー・シメリングの一戰にヤンキースタヂウムに集つた觀衆七萬には及ばないが何にしても大した人氣だ▲昨年はスタニスラスの池に棲む食用蛙フーリガン君が四呎を飛んで選手權を獲得したが▲僅か一吋の差で二等に落ちた一昨年度の選手權保持者「サン・ジヨカンの誇れ」君、聽衆一年御主人公たる同じく加州ストツクトンのルイ・フイツシヤー氏の指導で火の出る樣な練習をして居たが▲驚く勿れ今年は十二呎十吋半を飛んで見事雪辱したとある

特產

定期後場(銀建)

▲大豆(保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 九十四車

▲普通大豆(出來不申)

▲豆粕(區々)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
七月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 三萬九千枚

▲豆油(軟)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
八月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 五千箱

▲高粱(軟調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 百四十二車

▲包米(出來不申)

現物後場(銀建)

品目	寄付	大引
混保大豆(袋込)	七七七〇	七七五〇
大豆(裸物)		

出來高 二十車

普通大豆(出來不申)

豆粕 二五五〇 二五五〇

出來高 二萬八千枚

豆油(出來不申)

高粱(出來不申)

包米(出來不申)

錢鈔

定期後場(單位錢)

期	寄付	高値	安値	大引
近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 百十九萬圓

現物後場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高(銀對金)八萬三千圓 (銀對洋)四千圓

商品

後場(出來不申)

神戶特産(二十日)

品目	價格
大豆現物	[illegible]
先物	[illegible]
豆粕現物	[illegible]
先物	[illegible]
滿洲小麥	[illegible]
豆油現物	[illegible]

東京株式(長期)

銘柄	後場寄	後場引
東株新	[illegible]	[illegible]
五品	[illegible]	[illegible]
中	[illegible]	[illegible]
先	[illegible]	不申
豆信託新	[illegible]	[illegible]
中	[illegible]	[illegible]
先	[illegible]	[illegible]

東京株式(短期)

	五品	東新
寄値	[illegible]	[illegible]
引値	[illegible]	[illegible]
高値	不申	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
株新	[illegible]	[illegible]
紡新	[illegible]	[illegible]
大鐘新	[illegible]	[illegible]
日郵船	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]

神戶期米

限月	後場寄	後場引
六月	[illegible]	[illegible]
七月	[illegible]	[illegible]
八月	[illegible]	[illegible]

東京期米

限月	後場寄	後場引
六月	[illegible]	[illegible]
七月	[illegible]	[illegible]
八月	[illegible]	[illegible]

大阪期米

限月	後場寄	後場引
六月	[illegible]	[illegible]
七月	[illegible]	[illegible]
八月	[illegible]	[illegible]

本日廳報を添ふ

第廿九回決算報告

自昭和四年四月一日至昭和五年三月卅一日

貸借對照表

資本金四億四千萬圓

資產之部

事業用品、拂込未濟株金、有價證券、商品、貸付金、預金、現金、貸借金、保證手形、受取勘定、未收金、假拂金、社債差額……[illegible]

負債之部

株式、特別積立金、法定積立金、社員退職給與積立金、借入金、社債、支拂手形、證券保證、爲替勘定、共濟金、社員身元保證金、前年度繰越金、本年度利益金……[illegible]

合計 [illegible]

利益金處分

一金四千五百五拾萬五千八百五拾[illegible] 本年度利益金

一金一千拾九萬四千……[illegible] 前年度繰越金

計 金五千五百七拾萬……[illegible]

内

金貳百貳拾八萬圓也 法定積立金

金千七百拾萬……[illegible] 政府配當金(年五分三厘)

金千百五拾萬……[illegible] 政府以外株主配當金(年六分ノ割)

金八百五拾萬圓也 同上第二配當金(年五分ノ割)

金千萬圓也 特別積立金

金貳百萬圓也 社員退職給與積立金

金六拾五萬圓也 役員賞與並交際費

金千五拾六萬……[illegible] 翌年度繰越金

上記之通候也

昭和五年六月二十日

南滿洲鐵道株式會社

總裁 仙石貢

副總裁 大平駒槌

理事 大藏公望

理事 藤根壽吉

理事 神鞭常孝

理事 齋藤良衞

右承認候也

昭和五年六月二十日

監事 馬越恭平

監事 大橋新太郎

監事 原富太郎

監事 湯川寛吉

滿日地方版

撫順

選手三百、永安臺頭に あす必死の白熱戰
一般十種目と團體競技に亘り 全滿リレー・カーニバル

愈々二十二日撫順永安原頭において開催される全滿リレーカーニバルの競技種目は全く整ひ當日の遠征參加チームを迎へるのみとなつたが、確定せる參加團體は
大連アスレチック俱樂部、大連商業、育成、神明高女、工專、旅順體育協會、鞍山滿鐵チーム、長春體協、奉天體協、地元撫順の十チーム粒選り選手百卅七名延人員三百名の眞に模範的競技が展開される譯である

競技種目 は一般競技百、四百、千五百、ハイハードル、走巾、走高、棒高、砲丸投、圓盤投、槍投の十種目、團體競技は女子四百、男子四百、千米、三千米の各リレー等である

優勝旗のみでも滿鐵總裁カップ始め大朝、大每、滿日、大連、撫順各新聞社寄贈のトロフキー、撫順體協カップ、大垣體育協會長カップ、大沼カップ等前例ない多數で州外としては未曾有の壯擧である
勝敗は今の處全く

逆睹し難い が第一部大連、奉天、撫順では斷然大連が覇を成すべく、第二部大商、育成、神明、工專、旅順、鞍山、長春では工專、長春が囑目され且つ當日は全滿新記錄續出を期待され、參加チームの應援團はもとより各沿線からの觀衆で當日は凄じい壯觀を豫想されてゐる

二日來任の豫定
▲郡新一郎氏(土木課長) 十八日夜行にて赴連
▲大垣研氏(炭礦部庶務課長) 十八日竹中地方係主任帶同各方面へ就任挨拶をなす
▲篠﨑昇氏(神戸稅關長) 十九日來去
▲京城日日新聞觀察團一行二十二名 は十九日來去
▲梅村撫順驛長 十九日來任

優勝戰を目指し 古城子外七チームが殘る
全撫野球大會第一回戰了る

オール撫順野球大會第一回戰は十八日引續き行はれたが、まづ東鄉グラウンドにおいてはバッテリー古城子內村吉野運輸河野、水上で行はれ七對二で古城子勝、中學グラウンドでは機械白銀、野口で中學と戰ひ十三對四で機械の勝、本グラウンドでは庶務吉野、佐々木西山對工務安松市川は二十六對十六で工務の勝、經理局調査、發電所組東鄉、經理、製油の八チームが第二回戰參加有資格組となつたが本年は今星(第)吉野、横山等の超野球が中堅をなす古城子が現在の所優勝チームと目されてゐる

局撫順署は警部補一名增員された

二人組强盜
十八日午後十一時頃楊柏堡龐王才(三四)方に二人組强盜侵入金品を强奪逃走犯人不明

人事
▲藥島信司氏(炭礦部次長) 二十

本位田教授 けふ高女で講演
撫順では社會民衆黨々首安部磯雄氏、東京帝大教授本位田祥男、東北帝大教授河村又介の三氏を招聘夏期大學講座を開講する事と決定した、各講師來撫の日取りは別々であるが差當り今二十一日午後六時より同九時まで「消費組合運動」の題下に撫順高女講堂において本位田東大教授の講習がある、他の二氏の演題、講習場所日取等は決定次第發表すると

殺人强盜一味 更に二名逮捕
撫順署では楊柏堡縢載子華工宿舍に有力なる强盜一味の潛伏せる事を探知、十九日午前五時刑事隊出動し苦力頭張煥文、部下王黎翹、王永山の二名を逮捕引揚げたが、右は過般大官屯で警官隊を狙擊した殺人强盜團の一味らしい

警部補後任決定
撫順署御賀警部補の後任として大連署警部補岩崎敬氏來任、なほ瓦房店署巡查部長坂本德二三氏は警部補に昇進撫順署勤務を命ぜられ

本溪湖

長銃を强奪す
本溪縣第一分局警士劉永山(三一)は十九日午前二時頃支那街路を警邏の折柄三名の支那人が來合はせ自分等は土地不案內故宿屋を教へてくれとのことにてこれを教ゆべく先きに進みたる折柄突然隱し持ちたる兇器にて警士を滅多斬りに八ケ所の重傷を負はせ長銃一挺彈丸三十發を强奪して何れにか逃走した負傷警士は滿鐵醫院に收容手當中なるが全治までには約一ケ月を要する見込だと

人事
▲植田署長 着任後の管內初視察として十八日橋頭方面に出張した
▲栗谷地事務所長 十八日橋頭方面へ出張した

奉天

會議所議員候補 既に五名の超過
激烈なる競爭を見ん

奉天商議の議員改選は來る廿三日に切迫して來たが十九日までの立候補申請者は一部十八名二部十六名で既に五名の超過を見てゐるがため今回は從來のレコードを破り俄然激烈なる競爭が開始されたが大體出場馬と見られるものは左の如し

▲一部 出馬確定のもの 龐谷忱(現)鶴岡永太郎(新)入江來一郎(現)峰節義(同)原田孝七(同)遠藤貫一(同)吉川之康(同)上田利一(同)手塚安彦(同)出馬すると觀られてゐるもの向野堅一(新)藤田九一郎(同)三谷末治郎(現)佐伯直平(新)井上恒(同)横田一雄(同)末光源藏(同)松本昌五郎(同)古賀松二(同)

▲二部 確定せるもの 關尻則太郎(現)林興七(同)菅原憲亮(同)加藤佐太郎(同)松永主馬太郎(同)松尾清七(同)志和俊陽(同)石田武亥(同)西尾一五郎(同)石井芳(同)吉田繁次郎(同)萩原昌彦(同)木原市郎(新)明石開藏(同)寺尾節次郎(同)高橋由太郎(同)

この外二部に綿絲布商、特產商御商から四名の立候補を見るであらうと云はれてゐるから選擧は益々激烈を加へるであらうと

青年團の敬老會 あすヤマトホテルで
奉天青年團主催第六回敬老會は來る廿二日午後十時よりヤマトホテルの大廣間にて催されるが在奉高齡者を招待し慰安をなすと

英米煙草値上
近來の激甚なる銀安に因り當地英米煙草公司は去る十六日から一律に値上げを實行した、右に依り財政廳は今後該公司の製品に對し增稅するは勿論、値上げ前のストックに對しても增稅すべく十六日各稅局に在庫高の調査を命じた

入江所長挨拶
古仁所長氏の後任として奉天滿鐵公所長に新任された入江正太郎氏は目下尙在京中であるが七月上旬赴任の豫定で今般在奉各方面に左記の挨拶を寄せた
小生今般貴地在勤を命ぜられたるに付ては將來特に御指導御援助を蒙り度右不取敢御挨拶申上ぐ

町の便り
小坂拓務政務次官は來る廿五日來奉北滿視察の上七月六日過奉南下十二日大連出帆のうらる丸で歸朝の豫定である
◇久しく大連にあつた柳原農場主榊原政雄氏は兩三日前歸奉したが今後は北陵農場の經營に當ると
◇鈴木鐵道部次長は廿日午後七時から出入新聞記者その他を金龍亭に招じ挨拶の張宴をなした
◇東亞勸業公司の花井事務は廿一日午後六時半から出入新聞記者を金龍亭に招じ懇親宴を張ると
◇滿鐵々道部次長鈴木二郎氏及び洮昂鐵路滿鐵代表山口十助氏は十九日各方面を歷訪し挨拶を述べた
◇柳町料理店總稱館抱え酌婦濟美事森崎きみ子(一九)は十八日朝家出し北行したが十九日長春に於て取押へられ廿日連れ戾された

人事
▲鈴木館木稅關監督局長 十九日朝安東より過奉北行
▲村上神戸稅關長 同上
▲篠崎神戸稅關監督局長 同上
▲鈴木鐵道部次長 十八日大連より來奉
▲西村元奉天鐵道事務所經理長 十八日赴連
▲蓮沼修養團主幹 十八日過奉本溪湖へ
▲齊吉長鐵路副局長 十九日朝長春より來奉
▲于學忠氏 十八日來奉
▲デーラマン氏一行十四名 十八日長春へ
▲宋毅遼道尹 十八日來奉

鞍山

千秋前所長別宴
有志二百餘名出席

勇退した鞍山製鐵所長千秋寬氏の全鞍山官民合同送別宴は小學校横公園內において十九日午後七時より開催されたが出席者は二百數十名の多數に達した會場は五百燭光の電燈を各所に、色電燈を張り紅白幕を張り廻らし不夜城化せしめ一同齋藤林所長惜別の辭を述べそれより開宴に移つたが柳町の美妓酒間を取なし盛宴にて千秋前所長は、今回勇退するに付き斯うまで盛大なる送別宴を張られたるを深謝すると共に當鞍山の前途の光明につき暗々裡に製鋼所は當地に設立せらるる有力なる理由及び之に處する市民の覺悟努力等に依り設立の遲速あるを述べたのち藝妓の手踊等あり空前の大盛況を呈し盛況裡に午後八時散會した

內外協力して 事業完成を期待
富永新任次長の抱負

鞍山新聞協會員、加藤滿日、井下大連、渡邊奉每、野尻滿鐵、奉日野村、內野滿日の數名は十九日午前十一時より製鐵部新任次長富永能雄氏を製鐵所に訪問挨拶をなしたが氏は左の如く語る
私は製鐵といふことに就いては何等經驗なきものでありますが大平部長の指揮命令の下に働く考へで居ります今や世界は製鐵に限らず何の會社でも極度の不況にみじめなものであります此の經濟界は全世界的に實に陷り經濟戰に打ち勝つには世界で一番安いものを造るといふことが最も必要であります就きましては鞍山在住の邦人は滿鐵社員と市中商人とを問はず一心同體になつて製鐵事業の向上に貢獻されんことを御願ひして止まない次第であります

新城子驛長赴任
前鞍山驛助役高橋秀一氏は新城子驛長に榮進されたので十九日市中有志を歷訪して在鞍中の謝意を述べたが二十二日午前九時二十分發列車にて任地に向ふと

臺所用品の展覽會
來月五、六兩日 實業會堂で
奉天日日新聞支局では滿電瓦斯兩支店社會係家庭研究會等の後援の下に七月五、六の兩日實業會堂において臺所用品展覽會を開催すると、時節柄一般から期待されて居る

鞍山共生會
七月三日から結衆
鞍山北大宮通淨土宗知恩寺では滿鐵社會係佛教團後援の下に鞍山共生會を組織し中央共生會講師釜山共生園長太田秀山氏を招き、七月三日より六日まで四日間同院本堂において起居を共にし共生結衆を實施すると、希望者は三十日までに會費三圓を添へ智恩寺內共生結衆事務所電三五〇番に申込まれたしと

今津副監督轉勤
鞍山消防隊副監督今津今吉氏は今回實然長春消防隊副監督を命ぜられ近々榮轉することゝなつたが、氏は火災、非常時等には自ら先頭に立ち模範を示しベンゾール工場出火の際には滿鐵より功績賞を授けられ鞍山各種公共的催しには獻身的努力し一般市民から離鞍を惜まれ

鐵嶺

て居る、なほ鐵山實業青年團では顧問として大いに團の爲め盡力した同氏の榮轉を祝し惜別の意を表すべく二十一日夜木和田レストラントに於て送別會を開催すると

警察官補充
公安局で調査
遼寧省警務處にては省下五十八縣各地の警察官定員四萬五千人に對し現在は三萬八千人で缺員七千人あり、夏期匪賊の跳梁期を控へて警備の充實は目下の急務なりとし各縣公安局に對し缺員補充を通令して來たので鐵嶺公安局でも目下缺員調査と共に補充方法を講じてゐると

新舊驛長招待宴
前驛長青柳亮氏及び新任神代新市氏は歡送披露の爲め來る廿三日午後七時半より在鐵官民を萬安に招待すると

黃天教信者發見次第に逮捕
最近各地において黃天教を信仰する不定無職の徒が横行し民衆を愚弄し社會の秩序を紊しつゝありとの報告ありしため、遼寧省政府では黃天教信者はその首領たると信徒たるとを問はず發見次第逮捕すべしと命令し鐵嶺公安局にも通達があつたと

小林保姆後任
最に辭任せる鐵嶺幼稚園小林保姆の後任として今回奉天から是枝キク子さんが任命され近く着任すると

B組庭球戰
まつや運動具店主催のB組庭球カップ爭奪大會は二十二日午前十時より松島町コートに於て開催するが例により優勝チームの豫想投票もあると

電話交換所地鎭祭
鐵嶺電話局の自動交換機增備工事はいよいよ着手され現在の局構內圖書館に面して二階建の交換所が建設される事となつて十九日午後四時より地鎭祭を執行した

今日の案內(廿一日)
◇四氏送別宴 齋藤、中川、青柳三氏及び江草憲兵分隊長の送別宴午後七時より鐵嶺ホテルに開催

(役員は)次の如し
▲常任幹事(幹事長)荒川六平(庶務)井上四平三、水間議之助、加藤繁夫(會計)野尻菅雄、高野善哉
▲幹事 原田市松、大澤祐行、横畑幾久、吉田林七、棒井三男、小戸劍一、齋藤才太郎、森田平作、鈴木兼吉

體研實地教練
大和小學校では十八日午前九時から第五回體操研究會を開催し全校生徒を二組に分け實地教練を行つたが從來にない大規模の催しであり午後は批評會が開かれた

ゴルフ大會
安東ゴルフ俱樂部はリンクの新裝一成つたので來る二十二日午前九時よりゴルフ大會を催す事となつたが俱樂部より優勝カップを出す事となつてをり出場選手は安鐵兩地で約三十名にのぼる見込みである

哈爾賓

邦人は勞銀高
支人と露人とに押される
勞働者と失業——日、露、支の國際的都市ハルビンにも失業の世界的洪水は押し寄せて來てゐる、殊に業界の不振は勞ひ各種の勞働者を失職せしめてゐるが其の外に勞銀は下らない、尤も支那側の各種事業は不景氣ながら動いてゐるせいもあらうが、大體に於て日本人は露支人に比し勞銀は二倍乃至三倍人夫の如きは約四倍の比率に相當するから到底露支人には對抗ができない、これは全滿的の現象であるが、手工勞働者の範圍に於ても漸次支那工のために侵蝕されつゝあり、請負業の如きは全く歯が立たない、今五月末の勞銀表をみると
日本人は大工、疊職、ペンキ塗、鍛冶電氣工等はいづれも一日金三圓五十錢平均で、外人は大工左官、煉瓦職、瓦職、鉄力職、硝子職は平均一圓三十錢、木挽、鳶、鍛冶、錺師は一圓六十錢、建具、電氣工は一圓五十錢、人夫は六十錢である

秋一座の來哈で賑わつたハルビンの好劇家連は歐米各國を巡業中の梅蘭芳一行がシベリー線で歸國するので是非ハルビンで彼の演技をみたいと希望してゐるが多分實現されるらしい

公安嶺で藥草採集
韓穆爾阿氏は東京、大阪の外語で蒙古語を教授してゐたが今回辭任し大阪武田商會の石寺精氏と來哈し興安嶺方面の藥草採取のため十七日ハイラルに向つた、豫定は約一ケ月で主として標本の蒐集のためであると

濱江雜俎
朝鮮人居留民會長金圭五氏の夫人が鄉里朝鮮北韓雄基本町の自宅にて十七日永眠したので在哈鮮人代表沿線の各首腦者から百滿餘の弔電を發した
◇前奉天省長、東鐵督辦劉尙淸氏が十六日午前八時來哈した驛頭にはルドオイ局長、季少唐理事、張景惠氏等が出迎へた、用件は私用だと云ふが東支問題に關し政治的調査の意味を有してゐるものと見られてゐる
◇盛夏——十五、六の兩日は室內で三十六度
◇東鐵總務課では從業員の個人名簿を作成するため各課の人員其他を調査依賴した
◇滿洲工業專門學校の生徒の東鐵見學を管理局長は承認した
◇ベルギー駐在の芦田均事務官夫妻は十七日來哈、北滿ホテルに一泊十八日赴任
◇千葉醫科大學教授鈴木貫博士は同上歐洲に向つた

東支管理局の幹部常例會議
ルドウイ局長一行の東鐵沿線視察のため延期されてゐた管理局の首腦者常例會議は十九日に開催することに決定したが、主たる問題は(一)札來諾爾炭礦の原狀復活に關する豫算其他(二)アルグル河の氾濫による家屋、鐵道路の修繕等であると

失業者救濟策
ロシヤ避難民救濟委員會では一食二十五錢(金十二錢)の食堂で多數の失業者やロシヤからの逃亡者を救濟してゐるが、委員長のグルーレフ氏は一ケ月三元(金票の一圓四十錢)の食事を與へるため近く馬家溝に食堂を設ける計畫である、尙其外雜工及び洋服工の養成に失業者を救ふ方法を考へてゐると

獨逸實業家一行の動靜
ハルビン滯在中のドイツ實業家一行六名は十五日文廟を參觀し東北航務局を訪ひ、馬船口から呼海鐵路站を視察し、十六日は東鐵にルドウイ局長を訪問して東支經營其他に關し說明を聽き、三十六棚の東鐵組立工場を參觀したが、十五日は東鐵、十六日は濱江公署が一行を招待した、十七日は午前九時から第八區の狀況を視察するため東鐵技師カリーナ、ウオイトフ其他幹部の東道を受けた

梅蘭芳來るか
陝西の飢民救濟寄附金募集に[illegible]

安東

龍山鐵道軍を邀え 陸上對抗競技
平北體協、安東の聯合チーム 廿九日六道溝にて
朝鮮龍山鐵道局陸上競技部は平北體育協會宛に對抗陸上競技を申込んで來たが、平北のみでは選手が不足するので安東と聯合チームを組織し來る二十九日安東六道溝トラックで試合を行ふ事となつた

第二回競馬大會
廿七日から三日 關東廳に出願
馬匹總會揭讓十二萬圓の素晴らしい好成績を收めた安東競馬俱樂部は更に二十七日より三日間に亘り第二回競馬大會を臨時馬場で開催する事となり安東署經由關東廳に願書を提出した

滿鮮角力大會 準備進捗す
第八回滿鮮相撲大會は來る廿八、廿九兩日に亘り大和橋通り中央公園土俵において開催される筈で目下花房興行部の手で小屋掛に着手してゐるが、會場は十七間四面の天幕張りで會場內の土俵は既に完成し、各猛者が每夜猛練習を續けてゐる

競馬俱樂部の新役員
安東競馬俱樂部は從來の役員十二名を十五名に增加する事として滿場一致を以て可決した新役員の顏觸

營口

一週間に亘り 保菌者調查
接客業者並に昨年傳染病患者發生の各家庭居住者に對し滿鐵衞生當事者が十八日から二十四日まで一週間保菌者調查に着手した該當者は調査の遂行に便宜を與へられたしと

商業會議所が 不況對策協議
近來の不景氣にかてゝ加へて銀暴落のため深刻に迫り來る財界の窮迫に對し商業會議所として何等か對策を講究すべく近日中に協議會を開く

小川滿新社長
二十日大連にて舉行さるゝ滿洲神職會創立十周年記念式並に全滿殉職者慰靈祭に營口神社氏子總代々表として小川滿新社長出席することゝなり十九日赴連した

開原

あす開原デー!
競技種目、番組、メムバー決る 午前八時半から開始
開原デー運動會も愈々明日に迫り各軍のメムバー並びに競技種目も左の如く決定した、守備隊軍は選手競技には參加せぬが一般競技には非番員多數參加して奮闘するとの事で明日の中央公園は全市民を以て埋まる事であらう、因みに當日は午前八時半開始午後四時閉會の豫定である

各軍メムバー
▲官衙軍(主將)澀谷(選手)田中、堀籠、北島、宮內、大谷、岡田渡邊、太藤、上村、水間(監督)坂井、諏訪
▲地方部軍(主將)木村(選手)富岡、赤沢、康、古橋、原口、久代、根本、池田、蔣(監督)三好
▲驛軍(主將)齋藤(選手)增田、下吹越、西海、井上、山上、米滿渡邊、山口、濱田、八田、眞壁坂口(監督)味喜
▲市中軍(主將)米津(選手)濱崎、矢野、田渕、豐村、川田、熊(監督)藤井

プログラム
(一)開會の辭(二)選手入場式(三)國家合唱(四)リレー(小學校)(五)百米決競走(同)(六)同(七)賞取競走(同)(八)ダルマ案內(同)(九)ガバリ鬼(同)(一〇)ドッヂボール(同)(一一)(一二)百米豫選(選手競技)(一三)二人三脚競走(公學堂)(一四)リレー(同)(一五)百米競走(同)(一六)同(一七)盲人競走(同)(一八)百米競走(同)(一九)砲丸投(選手競技)(二〇)徒歩競走(普通學校)(二一)リレー(小學校)(二二)二百五十米競走(同)(二三)千五百米(選手競技)(二四)提灯競走(二五)背合豐競走(二六)百米決勝(選手競技)(二七)瓶釣競走(二八)百足競走(二九)樽送りレー(三〇)騎馬戰(三一)優勝旗返還式(正午休憩三十分)(三二)リレー(普通學校)(三三)走幅飛(選手競技)(三四)二百十米競走(小學校)(三五)袋鼠スプン競走(三六)騎馬競走(三七)盲人競走(三八)四百米(選手競走)(三九)魚釣競走(四〇)パン食競走(四一)圓盤投(選手競技)(四二)スキー競走(四三)喫煙競走(四四)走高飛(選手競技)(四五)卵子釣競走(四六)リレー(小學校)(四七)樽送競走(四八)逆立競走(四九)八百米リレー(選手競技)(五〇)優勝旗授與式(五一)閉會の辭

古手の巡警 强盜未遂で逮る
去る十日午後四時三十分頃開原附屬地縣城大街一番地衞良泉雜貨商に品三方へ小兒用雨合羽を購ひに來た原籍遼寧省西豐縣松樹林住所不定無職李玉峰(三八)を警戒中の縣巡査が誰何取調べんとしたるに李は反抗せんとしたので格闘の上逮捕せしが右ポケット內には裝塡せるブローニング拳銃を所持してゐた、嚴重取調べの結果去る二月十四日頃より昌圖縣警察隊の公安隊第三中隊の巡警となり五月八日解任し徒食中金錢に窮し前記孟方で强盜の目的で店內を窺ひ居たる旨を自白した

運動會の會長 其他の變更
開原運動會委員會を十八日午後一時地方事務所において開催し種々協議をなしたるが、川崎運動會長病氣入院中につき佐竹記錄委員長代理兼任し三田審判委員長は滿鐵醫院會議にて湯崗子へ出張の爲め委員長轉任につき佐藤正親氏を競技委員長に、其他轉任等により審判委員、競技委員、記錄委員中に四、五の異動を見る事となつた

炮手溝に馬賊團
去る十日午後六時ごろ昌圖附屬地を距る一邦里の伊通縣炮手溝に重秩子を頭目とせる三十餘名の賊團現はれ何れも拳銃を所持し附近部落を物色中なりしが支那官憲が出動したる爲め北方に向け逃走せりと

川島氏母堂の訃
開原實業會々頭川島安兵衞氏は母堂(七八)逝去の悲報に接し急遽十九日二十時二十六分發列車にて鄉里足利市へ歸國した

長春

滿鐵異動
今度の滿鐵大異動で土肥長春地事所長、齋藤驛庶務主任、高澤貨物主任が何れも他地に轉じたことは既報したがその他の長春關係異動は左の通り
人事課參事 大岩峯吉
命長春地事所長
四平街貨物主任 市瀨亮
命長春驛貨物主任
長春機關區長 岩永唯一
命四平街機關區長
鐵嶺機關區長 中川正
命長春機關區長
新設される各事務所長は左の通り
長春工車區事務所長 小林廣次
長春車輛事務所長 子安甚平
長春保線事務所長 村山末男
長春運輸事務所長 古川達四郎
因に細菌檢查所長坂本德一郎氏、消防隊副監督和賀橘之助氏以下四名は待命となつた

漫談と音樂 あす高女講堂で
目下沿線行脚中の甲賀三郎氏一行は二十二日來長同夜高女講堂に於て漫談と音樂の夕を催すと同一行は漫談甲賀三郎氏、テノール黑田進氏、ソプラノ獨唱種子孃、ピアノ君島愛子孃であると

ホテル納涼園好評
長春ヤマトホテルの納涼園は十四日から開いたが料金は例年通り二十錢で本年は市民の散策許りでなく各種の宴會其他の會合など大いに歡迎する由で劈頭第一に二十二日午前十時から行ふ防長鄉友會が申込んで來たと

パチンコでく傷
最近兒童間にゴム弓を玩ぶ事が流行して居るが最も危險な遊戲で往々人畜を傷け街燈窓硝子を破壞する事あるも兒童の事とて其儘に見過されて居るが、數日前にも大和街中野源之丞次男希文(七)が街路を步行中、何處からか母指大の小石が飛來して同人の頭部に命中し治療一週間を要する傷を負はせ、また道路工事中の苦力が同樣にして頰に裂傷を負ふた事實があり、開原警察署にてもこれが取締を嚴重にするとの事で、兒を持つ親達はお互に注意されたいと

公主嶺

退職者送別會
滿鐵會社に於ける今回の職制改革により農事試驗場長神田勝亥公主嶺驛長桐ケ谷德之助地方事務所長久保田賢一の三氏は退社近かく離公することゝなり齋藤警察署長吉藤郵便局長宮川澤田地方委員正副議長戰隊側安藤騎兵隊長三浦獨立守備隊第一大隊長等發起の下に十八日午後七時日支官民の大送別會を公園やまとに開催盛宴を張つた
神田場長は大正二年より勤續十七ケ年間公心以て職を奉じ温厚寬和日支官民の信用厚く模範紳士として令名があるので惜別の情一入深く、桐ケ谷驛長は明治四十二年當地に緣故の深き郭家店驛に在勤當時當市に往來舊知多く當驛に來任以來職務に勉勵部下を愛し高潔廉直の紳士で久保田所長は在職一年有餘爾來當市のために盡さんとしたのであるが一時に三氏を失つた居住者は惜別の情に堪へず云ひ知れぬ淋しさを感じてゐる

消費組合配當金
滿鐵消費組合の昨年度の出資配當金並に買上高に對する割戾し金は十八日それぞれ組合員に配當支給されたが、同組合昨年度の純益金は三十一萬五千餘圓にて內買上高に對する二分の割戾し金は十四萬九千圓出資金に對する一割の配當金は三萬二千圓及び準組合員出資金配當金は二千圓であると

新所長の來公
公主嶺地方事務所長西村秀治氏は十九日十一時五十一分着驛着の第十三列車で來公した

四平街

漫談と音樂の夕
けふ小學校で開催
探偵小說家の大家として名聲嘖々たる甲賀三郎氏、音樂界の彗星たる種子孃、黑田進氏、君島愛子孃らの來滿を機會に四平街基督教會婦人會主催、滿鐵社會課及び本支局後援の下に今廿一日午後七時三十分より四平街小學校講堂において音樂會を兼ね甲賀氏獨特の探偵趣味の漫談會を開く、プログラム左の如し
一、探偵趣味の漫談
二、テノール獨唱
三、ソプラノ獨唱
四、テノール獨唱
五、同前
六、コロラチユアソプラノ獨唱

精穀所問題 反對決議
要路に電請
特產商組合員は十七日急遽臨時總會を開き昭和精穀所問題の對策につき協議を凝らした結果左記の決議をなすと同時に滿鐵總裁を始め關東長官其他要路に向け電請する處があつた
決議文
滿鐵會社が內地食料問題解決のため公共事業とし且つ特產商の利益のため精穀所を設け栗及び雜穀精品の統一を計るとの聲明ありしに拘らず今回同工場を利益を以て目的とする合資會社に組織變更せしめんとすることは地方特產商の致命的打擊を蒙るものと認む依て滿鐵會社の昭和精穀所を合資會社に組織變更することを斷然中止せしむることを期す
右決議す

遼陽

プール開き
來月六日擧行
遼陽滿鐵運動部のプールは新たに兒童用を增築し愈々七月六日から開場すべく準備が出來たので社會係では水泳部員會員の募集中である、會費は大人社員一圓五十錢社員外二圓、學生一圓、兒童五十錢、一回券大人二十錢、兒童五錢である、因みに遼陽のプールが一回券二十錢とし大奉天と同額は高價だとの說もあるが、當事者の說によれば一回券は取扱上可成り煩雜であるから可成會員たらしむる方針なることと及び井戸の設備に五百餘圓を要したためだと

千秋氏告別挨拶
前鞍山製鐵所長千秋寬氏は撫順鑛部庶務課長に榮轉した石[illegible]事務課長と同道十九日來遼師團司令部、領事館、地方事務所其の他訪問告別挨拶の上午前十一時で鞍山へ

瓦房店

人事
▲福田又司氏(瓦房店機關區長)は十九日各所歷訪告別挨拶
▲安原龍次郎氏(遼陽機關區長)新任挨拶
▲宮城調明氏(鳳凰城驛長) 十九日各所歷訪告別

西村所長ほか 六氏の送別會
今回の滿鐵異動により榮轉の西村地方事務所長、吉留警察署長、川西運轉主任、山川驛長、市場醫師及び退職した山田地方吉氏に對する各所屬並に市民聯合の送別會は十八日午後四時より社員俱樂部に於て開催、定刻一同着席佐藤警察署長發起人側を代表して、支那側は縣知事が代表して惜別の辭を述べ、これに對し西村所長榮轉側を代表してこれまた從來の感謝と離別の情を述べて敬意を表しかくて開宴、筑紫及び謳、都々逸等紅裙連酒間を斡旋して主客共に十二分の歡を盡し午後六時盛會裡に散會した

驛構內大修繕
瓦房店驛の建物は露國時代の建物で何かと不便であつたが今回屋內各所及屋根等に大修繕を加ふることとなり目下修繕中で竣工の上は面目を一新するであらう

赤痢二名發生
追々向暑の候となり傳染病發生の時期となつたが早くも二名の赤痢病患者發生目下入院治療中

河野警部補昇任
瓦房店警察署勤務巡查部長河野良一氏は今回警部補に昇任奉天警察署勤務を命ぜられ、また巡查部長坂本德二三氏は同じく警部補に任官撫順警察署勤務を命ぜられた

滿鐵職制改革と 植民政策上の考慮點（五）

難波生

點つて朝鮮農業を論ずるに當つても、南部を標準としての觀察と北部とは大なる相違があります、例へば慶尚道は農家一戸當りの面積七反歩であるが、平安南道や黄海道方面には、二町半てふ廣面積が當てられます、隨つて地價の高低にも著るしい等差があつて、後者の或る地方は一萬圓で二十町歩以上買入れ得るが、前者では三四町歩しか得られないさうです、勿論其處には收穫物の多寡及び種別に依る利益の深淺もありますが主なる原因は耕作法の精粗であつて、若し地主が農業に關する研究を怠らず、鮮人小作者の接觸指導に留意するならば、さうした差別點は漸次縮小し得られませう、

經驗家 の言によれば田園生活者の人情は至極純樸であり殊に北部に於て質素忠實だとの事です、由來鮮人に關する第三者の批評には、懶惰と浪費とが附き物のやうでありますが、之は常人の境遇や出生地に依つて非常に割引されねばならぬと思ひます、又た單なる搾取主義的見地からと、指導者の責任を感じての觀察とにも、おのづから一致しない條項があります、指導に就いて思ひ合はさせられるのは、今日まで行政的に試みられた指導機關の現狀であつて、所謂滿蒙開發に失敗の痕が少なくないやうに、半島に於ける保護指導にも多くの誤策がありました、干拓事業や、水利組合事業の如き、農政上の原則から見並びに完成後の外觀に徵しても頗る善政のやうに思はれて而も或る失敗が裏附けられて居ます甚だしいのになると少數の個人若くは團體が補助金をせしめるための便法だとの譏さへあつてそれを否み難いほどの放漫杜撰な計畫が敢行され、その負擔を自作農者や鮮人小作者に押ッ被せて居る狀態なのもあります

斯樣な 成行きが積り積つて鮮人間に政治に對する反感を起させた點もあるらしく、之を其儘思想の惡化と臆斷するのは間違ひではありますまいか、兎に角私は官府當局者の間に流れて居る或る氣分や、最も官僚的優越觀念に追隨し易い都市在住者の意見と、親しく田園裡に生息して自由に公正に鮮人と接觸して居る人々との間に少からぬ常識的懸隔あることを否定し得ません、而してこれ等は本題目に直接關係ある事柄ではないが、今後益々滿鮮兩地の植民的交流作用を必要とし、滿洲在住者は朝鮮を、朝鮮在住者は滿洲を、研究せんとする際注意事項だと信じます、官府當局者の分掌的調査を通じ、資本組織の營利的連繫を主として觀察すれば朝鮮と滿洲ほど地理的に接近して、而も經濟的に相隔離して居た土地は稀であります

夫には この兩地域が日本との國際交渉を別々に有した關係もありますが、日本行政の孤行的分立狀態にも支配された爲めです、滿洲豆粕の朝鮮輸入案が、半島農民の經濟を脅威する者として、容易に故寺內總督に容認されなかつたことや、吉會鐵道の敷設問題が、滿鐵の繁榮を奪ふ者として一部滿洲在住者に冷眼視されて居た事など、以て這般の消息を窺ふに足ると思ひます、斯くて滿蒙開發は盛に絕叫され、滿蒙論さへ唱へて居れば、日本の國民生活は保證されるやう考へて居た間に、世界の趨勢は濶歩的に大きく動きました、滿洲粟の供給なしには朝鮮の食糧問題が安定しないやうに、滿洲在住者の植民的事情は蒙古シベリアの天地を指して大言壯語するよりも、退いて朝鮮と南滿との不可離的關係を靜思し、先づ其處に堅い植民的地盤を築かねばならぬ事を考へさせて居ります、面白いのは地理上から見た朝鮮への移植民で、日本からの渡來者は南鮮に多いが北部へは餘り及んで居りませぬ

之れは 內地からする朝鮮各地への遠近に起因すること勿論だが滿洲在住者の眼には却つて反對に映じます、一例を農家の經驗的立場に大影響ある土地の價格に採つても、南鮮地方の一反歩平均三百圓は、夫より二倍以上高い土地に住居する內地人には驚くに足らぬが、園農を志す滿洲在住者は寧ろ低廉な北地を擇ぶ方が總てに便宜です、內地から直接半島に渡航した者には、南鮮から北鮮への進出は氣候風土の一層酷烈な事を豫想させますが、滿洲在住者にはより溫暖順和な新鄕土に轉移することになります、又農耕上の技巧から評しましても、あれほど勤勉な支那農民も、米作に就いては朝鮮人の敵でないやうに、朝鮮農民が滿洲に共通するドライファミングや家畜飼養に就ての訓練は隣接地に於ては餘程酷似して居るが、大體から見て滿洲農民に及ばない斯て慶尚道、江原道などの諸地方から、白衣の移民が滿洲に流れ込む半面に、山東から東三省へ、東三省から北部朝鮮への支那人入國者は漸增して居ます、殊に況んや最近露人の流入者少からざるをやでありますが、併し一面には朝鮮人及び朝鮮在住邦人をして、滿洲近時の發展振りを遠望し、衷心から此地への轉嚮を憧憬させても居ります

山西瞥見記（四）

太原にて　萍生

閻氏の執政振

閻錫山氏は本年四十八九歲の働き盛りであるが、その部下の省政府又は總司令部の首腦幹部も何れも少壯有爲の人材を起用して居る由である、その中には日本留學生出身も少くない、第一に、閻氏自身が士官學校出身であるから軍部の部下には相當多數の同校出身者も居る、民政廳長（日本內閣なら內務大臣格）の李氏も明治大學を大正十年に卒業したといふ、その外閻氏の側近にあつて幅を利かし居る梁氏及び工商廳長、火藥所長等何れも日本留學生出身である、然し現に此等首腦部に屬する要人等は何れも溫厚の士といふべく、民政廳長の如きも一見舊時代の日本の田舍に於ける郡長然たる好々爺である、由來閻氏は政治軍令共に獨斷專行とも言ふべきやり方であるが、その間に些かも私我を彌縫しないために他より物議を申入るゝものもなかつたのであるが、部下にて漸次信望を得るものがあれば、之を敬遠する意味において名目上好地位を與へ、實權は自己に押へて置き後任には何れも自分が頤使し得らるゝが如き人物を登用するのが常套手段であるといふ、從つて政務の細大は閻氏の決裁を要するのであるといふのも氏が老猾なる片鱗を窺はれる譯である、外間では容易に北京に乘出して北方政府を作るかの如き說をなすも用意周到なる同氏はなかなか動かなかつたのである、今回の戰地出動の如きも確たる勝算を得たらしく遂に乘出したものであるが、同氏の行動が絕體に愼重であるのは事實である、尤も氏は前回北京方面に進出した際に三度狙擊されたのであるが幸運にも負傷さへもしなかつたと傳へられる。

閻氏と國民黨

現時の支那においては天津はもちろん、北京でも人の目につき易き場所には必ず「打倒帝國主義」「實現三民主義」云々の文字を、丁度仁丹か煙草の廣告の如く書き立てゝ居るが、太原府の如きも城壁や個人の牆壁等到る處に「不平等條約破棄」やら、甚だしいのになると「打倒日本帝國主義」などと大書して居る、之は一時の流行ともいふべく、「以黨治國」などゝ稱し市黨部又は省黨部などを設けて相當幅を利かせて居つた黨員もあつた、時流を察するに敏なる閻氏は之に贊意を表して居つたが、南方と戰端を開くや暗に之等市黨部員等の美名に隱れて私心を逞しふする連中に鐵肘を加へた爲め、現在では太原府始め北京等には市黨部員などといふ連中は何れも姿を晦まして了つた、元來閻氏は國民黨の如く黨を以て國を治めんとする政策には贊同し居らざりしもの〻如く、戰時中なるの故を以てか國民黨の宣傳の如きも全く中絕され、之に代ふるに部下をして討蔣同盟を鼓吹せしめ、北方の新聞紙上は何れもその行事を滿載して之が宣傳に懸命となつてゐる、現在の戰爭が閻氏に有利に展開し北方の政權を握ることにでもなれば從來の如き國民黨の宣傳政策によらず他の方法によりて國民黨を疎外するだらうと觀られて居る

▽新刊批評△

▲社會思想全集（三十三卷）「暴力論」「財產進化論」の二篇を收む、暴力論の筆者ジョルジュ・ソレルは佛蘭西の生んだ近代の代表的思想家である、革命的サンヂカリズムからマルクス主義、更に一躍反動思想に移りいつの間にかレーニンに信頼をつないでゐたフエミニスト・ソレルはあくまで率直な好々爺であつた、そしてこの暴力論はその代表作の一つである「財產進化論」はマルクスの次女を妻に持つ佛國社會黨の名士ラファルグの著であるが、彼は遂にその妻と共に自殺をせずにゐられなかつたほど純情の持主であつた若者は世の經濟學者が資本をもつて人類の原始時代に歸する所以は彼等が原始民族の習慣を知らないがためであるとし、本著においてその經濟組織たる原始的共產主義の存在を方面から例證し丁寧に本論を進めてゐる（五百二十四頁豫約本東京市麴町區下六番町平凡社發行）

▲社會思想全集（廿八卷）原作者翻譯者總てアナーキストばかり、收めるもの「神と國家」「共產黨宣言の種本」「無政府論」「對話一篇」「原始社會の研究」「進化と革命」の六篇、アナーキズムの父バクニーンをして一躍世界的ならしめた「神と國家」（八太舟三譯）は餘りにも有名である「共產黨宣言の種本」（延島英一譯）は、ヂョルヂアの公爵から社會運動に身を投じアナーキストとしてペンキ職となりながら苦鬪したチエルケゾフが國家社會主義のマルキシズムを痛烈に批判した大著「社會主義史の數頁」の第十章であり「無政府論」「對話二篇」（麻生義譯）はアナーキズムの手と言はれる伊太利のエンリコ・マラテスタの著はしたもの、其の中に文筆家でなく寧ろ行動家としての彼の反逆思想を知ることが出來る「原始社會の研究」「進化と革命」（石川三四郎譯）はベルギーの持つた世界的アナーキストであり大著「地人論」「世界新地理」の著者であるエリゼ・ルクリユの作品である「原始社會の研究」は「地人論」の三十分の一ばかりを摘出したもの「進化と革命」また彼の代表作に數へられるものである（五百十四頁豫約本東京麴町下六番町平凡社發行）

邦商反省の秋

投書歡迎　中傷を目的とするものは採らず　新聞行數五十行以內のこと

川柳生

七日の貴紙朝刊に大連唯一の日本街たる浪速町が到頭華商に侵入された記事を見た、現在の如き資本主義經濟組織の下にあつて、自由競爭を强ひられてゐる社會にあつて、商賣上手の商人が勝を制するのは當然のことだ、誰だつて同一の品を高價に買ふことを欲しないのは勿論で、又、物を買ふなら氣持のよい店で買ふことになるのも自然だ、愛嬌のよい、生活程度の低い、從つて値段の安い華商に邦商が鋒先を向けることの出來ないのは當然すぎる當然の歸結ではないか、而かも內面を暴露して見れば（外面は如何に華麗に飾つてゐるようとも）片足を棺桶に突込んでゐる邦商、否片足どころか唯首だけ出して藻搔いてゐる邦商の數の如何に多いことか？これに比して華商中には我々の想像し得ざる程の資本を有してゐる者が多々あるのに驚かざるを得ないであらう要するに「州內にては邦人以外の者にして商行爲を爲すを禁ず」とでも云ふ州令でも出ない限り、今度の例のみならず今後に亘つて邦商が華商に放逐される時も遠くはあるまい、將來何年後とは斷言出來ぬが結局は、小資本邦商は絕滅だ、殘るものは唯だ三越程度のものと滿鐵或は傍系會社に喰ひついてゐる商人ぐらゐのものだらう

經濟調委員樣へ

伊勢町一商人

種々の御名案敬服致しました、併し斷行不可能なら畫餅同樣です多くを望みませんが是非共消費組合の一條だけは徹底さして頂きたい、然し餘り大袈裟に乘り出して虻蜂取らずに終る樣では殘念ですから

第一　同組合は日用品に限り扱ふ

第二　組合員外には便宜を與へぬ

右二項丈け早速實行出來る樣に御盡力下さつては如何でしようか、當今の委員會には名論卓說が多いやうですが兎角泰山鳴動鼠一疋の場合が有り勝です、御如才もなからうが此點特に御含みを願ひたいです

探偵小說　女妖（121）

江戸川亂步作　橫溝正史　伊藤幾久造畫

恐怖の別莊（十一）

「あゝ、有難ふ」

子爵はコップを受取ると、それを花子の口にふくませた。

「花子さん、しつかりして下さい」

花子は暫くすると、漸く正氣に復した。

「あゝ、此處は……」

先程の、あの恐ろしい瞬間に思ひ出したのであらう。彼女は肩をすぼめて身慄ひした。

「大丈夫です。助かつたのですよ。さア安心してゐらつしやい」

「まア」

花子はまだよく嚥み込めないやうに、おどおどしながら邊りを見廻してゐる。

「此處にゐる、この人が助けてくれたのです。あの恐ろしい死の刹那に、この人が救ひの綱を投げ下してくれたのですよ」

さう言ひながら、子爵は初めて思ひ出したやうに、傍に立つてゐる男を振り返つた。

その男といふのは、粗末な衣服を身に纏つて、鬚も髮も伸び放題、眼のぎよろりとした、見るからに怪しげな風體をした男である。今迄、昂奮してゐた爲に、そんな事には少しも氣がつかなかつた子爵は、この態を見ると思はず眉をひそめる。

「君は、誰だね、どうして我々を救つてくれたのだね」

子爵は油斷なく身構へする。

「俺ですかい。俺やこのお邸の番でございますが、お前さん達の危難を見るに見兼ねて、お助け申したんでさ。然し、俺ア驚きましたよ。春日さんのお孃さんだの成瀨子爵樣が、こんな所にゐなさらうとは、少しもしりませんでした」

「えゝ？」

子爵と花子は思はず顏を見合せた。

この男、一體何者なのだらう。自分たちの敵か味方か。

「さう吃驚なさるにや當りませんや。俺がお前さん達の名前を知つてたて當りまへの事ですぜ、何しろ春日花子孃に、成瀨子爵と言やアパリで誰知らぬものもありませんぜ」

男はさう言つてくつくと口の中で笑つてゐたが、急に眞面目になると、

「然し今のところ、こんな事を言つてゐる場合ぢやありませんぜ。さア逃げませう、此處は惡魔の棲家ですぜ、いや、鬼の棲家でさ。愚圖々々しちやゐられません」

男はさう言つて二人をせき立てる。

子爵はその言葉で初めて氣がついた。

「さうだ、花子さん。もう少しの辛抱です！元氣をお出しなさい」

「いえ、わたくし、もう大丈夫でございますわ」

花子は今はもうすつかり元氣を回復してゐた。

「さア、かうおいでなさい。俺が御案內申上げませう」

男の案內によつて、二人はその部屋から急ぎ足で出て行く。狹い、曲りくねつた廊下が長々と續いてゐる。三人は足音を忍ばせながら步いて行く。

と、男は思はず「呀つ！」と叫んで立止つた。

見ると彼の鼻の先に一人の男が突ッ立つてゐる。

惡鬼の如き形相をした千家篤麿だ。

彼の顎から生々しい血潮が滴々として滴つてゐる。

彼は顏を歪めて笑ひながらヂロリと三人の顏を見渡した。

家庭

簡單で効果のある 家屋の消毒法

移轉先の家は消毒してから入ること

移轉先の古い家は、どんな人が住んでゐたか知れず氣味の悪いもので、殊に結核等の傳染患者がゐた場合には問題です。一番簡單でしかもいつとも効果のある消毒法は日光を利用することです。それも

……直射光線だと尚更強い……

殺菌作用があります。間接の日光々線も多少の効果があります。だからまづその家の疊は皆屋外に出してその他の家具類も動かせるものは皆日當りのよい所に出して、日光にさらすことです。結核菌のやうに抵抗力の強い細菌に培養基上ですと數箇月も生存してをりますが、直射日光に當ると數時間で

……消毒には藥液を用ひね……

ばなりません、リゾール一パーセント、石炭酸フオルマリン、クレゾール、昇汞等色々用ひられ、藥品により一利一害はありますが、一番簡便で經濟的なのは千倍昇汞水でふく事です。これに鹽酸あるひは酒石酸を加へると更に効力が得られます。然し餘り餘計に加へると、却て消毒力を減じますから〇・一乃至〇・二パーセント以上加へてはなりません。藥屋に行くと

……食鹽を丁度適當に加へ……

て昇汞錠劑として賣つてをりますが昇汞は元來劇藥で無色のものですからただの水と間違はないやうに赤又は青色の色素をまぜて區別します、この液で床の間、柱、障子、窓その他の家具類をふいた後清水でふき取るかあるひは洗ひ流すか

……陶器か蠟引きの洗面器……

せねばなりません。この際注意を要することは、昇汞水は金屬類を腐蝕する事がありますから、昇汞錠を溶かす時、金屬製の容器を使つてはなりません。で溶かすのがよいのです。從つてふすまの引手や錠前等の金物は避けねばなりません。家屋の消毒はリゾール石鹸液一パーセントに浸す事です。便所、ごみ箱等には生石灰一〇〇に對し約六〇の水を加へていはゆる石灰乳を作り、これを五倍にうすめてまいて置けばよいでせう。金物の消毒には又ホルマリンの蒸氣消毒といふものがあります。この方法は手數がかゝつて素人には一寸出來兼ねますが、消毒屋に頼めばすぐやつてくれます。

……これは部屋を密閉して……

隙間には皆目ばりをして、ホルマリンのガスを部屋中に滿して消毒するのです。藥が隅から隅に行きわたつて効力の點からいへば一番ですか、手數のかゝる事と臭氣の強いので閉口します。

人生の横顔 (3) ……港の午後…… 島村美樹夫

港の午後だ……
積づけにされた
ドス黒い船が
どてつぱらに
無氣味な口をあけて
豆粕を貪り食つてゐる
陸から架け渡した
一枚の板……
その上を
幾枚かの豆糟を支へた
赤銅のやうな筋肉が
續けさまにうごめいてゆく
肩に當てた
麻袋の下に
にじむ 黒い汗と脂
なあに
山東にや
可愛い娘が
俺の歸りを
待つてゐるんだへ、ッ
それを思や
豆糟も重かあねえ……
甘酸つぱい
船倉の香が
ひとしきり
あたりに漂ふ、」

……黴菌に對して二重の攻……

完全に死滅してしまひます。もちろんチブス、コレラ、赤痢等の黴菌も死滅します。又日光にさらすことは同時に濕氣を除くことになり濕具にもなります。即ちどんな細菌でも水氣のある所が好きで干さうすると長く壽命が保てないのが普通です。疊を上げた後をよく掃除して床下の汚い塵埃を取去り、風をよく通して十分かはかしてから、新聞紙を敷、その間に害蟲のわくのを防ぐ爲にナフタリンの粉をまいて置けば大丈夫です。然し、外へ持ち出せない物の

探偵漫畫 二 謎の夫人 じらふ作畫

……二……

その翌朝……まだその附近の住宅街の家の窓には重いカーテンが閉されてある午前四時半頃、トン吉は昨夜の若い夫人がコツソリと向ふの門内へ歸つて來る後姿を見た。

「どこへ行つて泊つて來たのだらう?……親戚か何かに不幸でもあつたのかな?」

「併し、その夜も十一時頃に又夫人は出て行つた、そして其の翌朝は五時過ぎいそ〳〵と歸つて來た。

「少しおかしいぞ」

トン吉には探偵趣味があつた。

新興童話の眞意義について (上) 酒井弘

私は石森氏を始めその他の人々の新興童話に關する新運動を面白く且つ感激の心もて傍觀してゐる者の一人であります。

この運動に對する絶對的價値判斷は兎も角として傳説的な寓話的なこれまでの童話を離れて何か此處により價値ある童話の領域を見出さんとして努力してゐられる人々たちには尊敬と感謝に値するものがあると云はねばならない。

然し、石森氏の六月四日、五日にわたつて掲載された「新興童話について」の御意見には何かしら「新興童話」そのものとピッタリとしない所がある樣に感じられるのです、唯こう言つただけでは一寸わかりかねますので僭越ながら些か卑見を述べさせて戴きます。

本論に入る前に新興童話の新興とは果して如何なる意義を有つてゐるものであるかを考へて見たいと思ひます、こうすることによつて自ら新興童話の領域、性質、方向が明らかにされることゝ思ひます。

新興とは俗に云ふ「新しい」と云ふ樣な意義、はなからうと思ひます、何かしら前のものとは違つた革命的なもの、もつと正確な言葉で云へば一段高次なるものゝ出現を意味するものではありますまいか、從つて在來の童話に對する新興童話の位置は一段高次のそれでなくてはならないと思ひます。

然らば一段高次の童話とは何かと申しますと次の如きものではなからうかと思ひます。

すべて藝術にしろ自然科學にせよ生産力に結びつく生産關係の總和としての社會の經濟的構造を實在的基礎として、その上に成立する上層建築なるが故に必然的に經濟的社會關係を反映するものであります。

然し此處に注意しなければならないことは、藝術、自然科學とは夫々意識形態としての藝術及び科學思想を意味してゐるのであります、從つて新興童話とは在來の資本主義經濟社會の個人主義の自らの中に自己矛盾をきたし、それから生じた社會的生活意識(これは既に一段高次の段階である)の上に萠芽せる童話に外ならないと思ひます。

或日の感激 (2) 喧嘩を止めさせた 女の威力 A〇生

▼……十九日の夕ぐれ――所は電車道に沿ふた王陽街の空地――二人の支那の青年が頻りに何か爭つて居る、例によつて芝居がゝつたモーションばかりの喧嘩かと見てゐると、二人の喧嘩はだん〳〵嵩じて掴み合ひなぐり合ひとなつて來た

▼……一人の方は丈も高く腕ぷしも強いらしく相手をぐい〳〵押しつける、丈の低い方も中々勝氣な男と見えて、とつちめられながらも、噛みついたり、かきむしつたりして猛烈に抵抗を續けてゐる、支那人には一寸珍しい勇敢な組打だ

▼……その中に二人の物凄くどなり合ふ聲に見物人は黒山のやうに集つて來た、群衆の中から調停者らしいのが一人二人出たが忽ち蹴飛ばされてしまふので、しまひには誰も手を出す者がない、いゝ〳〵騒ぎながら傍觀してゐるばかりだ

▼……その中に爭鬪は益々烈しくなり、大きい方は腕から血をたら〳〵流してゐる、小さい方は上衣をずた〳〵に裂かれてゐる全く血みどろの喧嘩だ、その時一人の老女が何やらわめきながら群衆を押しわけて飛び込んで來たが、いきなり大きい方を平手でピシャ〳〵なぐりながらあちらへ押しやつた、早く歸へれといふらしい、そして小さい方には言葉を和らげて何か言つてきかしてゐる

▼……二人は一旦別れたが如何にも殘念さうに小さい方が何か罵り出した、すると大きい方が猛然と飛びかゝらうとする、老女は躍氣となつて大きい方を追ひのけてゐたがとう〳〵向ふへ追ひのけてしまつた、そして小さい方をそこに居た一人の男に引渡して事件は一段落を告げた

▼……この老女は大きい方の母親だつた、そして二人が喧嘩を止めたのは母親に對する尊敬の念と、女子に對する禮儀とからであつた、支那ではこんな場合の調停は女に限るらしい

雅趣に富んだ描き更紗と 誰にも出來る描き方 (上) 猪飼曉山

猪飼曉山氏は近來工藝美術界に尖端的な技藝としてその眞價を發揮しつゝある描き更紗研究者中の第一人者で目下當地に在住し希望者の指導に當つてゐたが逐日多數の研究者を得たので近く彩香社なる會を設立しその第一回作品展を催して廣くその眞價を問ふべく準備中である。「描き更紗」とは如何なるものであるかこの一篇は初心者にとつて好參考と思ふ

「更紗とは どんなものか」

一口に更紗といへばあの毒々しい熱帶的色調の印度更紗を想起されますが、それは餘りに狹義の解釋で、描き更紗の持つ獨特の氣分をさへ感受できましたら、その描くものは支那趣味でも歐米趣味でも自分の好み通りの描作ができるのであつて、あらゆる風物から、圖題も意匠も隨意に探つてこれを自分の創意の湧くがまゝに描作する、繪筆の先端からほとばしり出す心持といふものは或る規則によらねばならぬ繪畫や、型や織物の下圖のやうな窮屈なものではなく、のび〳〵とした自由な氣分からなる清新な興趣のまゝに無限の醍醐味に浸り、その慾望を達し得られると共に、その作品から受くる新味は誠に盡きないものであります、元來更紗といふ語は日本ではめた字であつて印度の小都府「スダラサ」から出たものです、支那では花布又は印花布と呼びます「サラサ」といふ言葉は殆ど世界語のやうになつてをり同時に世界何れの國も之を珍重

獨特の

更紗を作るやうにした結果各國競つて各自なりました、然し無論それは多量生産の型染法に依るもので茲に申上げる描き更紗のそれとは大いに趣きが異つてゐるのであります、そこでこの更紗描作上の氣分といひますと例へば友仙はきれいな色を配して外觀美を誇りとしてゐるに反して描き更紗は同じ赤でも作者の氣分を打込んだ獨特なもの丈

作品に

飽きの來るやうなことがありません、で描き更紗研究上の大意を申してみますと「更紗は單に更紗の裝ひをしてゐる丈けに云ひ知れぬ識趣が奥底にひそんでゐる即ち内觀的とでも申しませうか、それ丈け永くけのものとすれば實につまらないものであるが、更紗の持つ氣分精神に作者の生命を吹き込んだものであれば眞に描き更紗としての使命を全うせるものであつて其處に尊い藝術的價値が存する」と云ひ得ると信じます、然し斯う申しますと大へんむづかしいものゝやうですが左樣ではなく

無邪氣

な十二三歳位の子供の描いた更紗があつてその子供の純眞さをその儘表現した優秀な作品のあることを申上ぐればお分りにならうと存じます、左樣に描きされるものであります――以下少しく描き更紗の描作上の重要な點を記しませう。

夏も 肉食が必要 夏向きの牛肉料理

▼…夏分は 主としてあつさりしたみづ〳〵しいもの程食慾がそゝられ、肉類と云へば多ものゝやうな感じがしますが、夏は所謂夏やせといつて脂肪分を取らないとヴイタミンAが缺乏するので昔から「土用の牛の日」「鰻なべ」などと云つて夏分でもやはり肉類を攝る習慣があります。殊に水泳その他スポーツマンは生理的に脂肪分の多い肉類例へば牛肉類が必要とされてゐます。

▼…良い肉 は色が鮮赤褐色で光澤よく、キメが細かくて柔かく指で厭すと壓した痕を留めるがすぐに元に復する、これと反對に色が赤黒く彈力性に乏しくそして脂肪がボロ〳〵で筋の多いものは悪い肉です。しかし良い肉でも色が著るしく變つたものとか肉が粘着性を帶びて居たり、又妙に臭氣を發するもの腐敗しかけたものは絶對にさけなければなりません

▼…次に夏 向にふさはしい料理法としては牛肉をトロ火で先づワリシタを作ります。即ち味淋と醬油一合三勺に水一合を加へこれに砂糖百二十グラムを入れよく混ぜ合せてにたゝせ鷄卵の殼に白味を少々入れてアクをすくひ取るのです。これはこいワリシタで肉を煮る最初に用ひその後はこれを十倍に薄めたのを加へるやうにします。

米作多收穫に成功 反二十二俵の増收

昭和四年度の全國米作多收穫共進會の成績によると千葉縣の北田埴三郎氏は反八石八斗三升八合即ち反二十二俵強を増收し、埼玉縣の青木高助氏の七石九斗一升強、廣島縣で小川馬太氏の七石五斗四升強、岩手縣で貝籠喜一氏は七石四斗三升強を増收し共に稻作多收穫に大成功した。

今同氏等の稻作法を見るに、同氏等は豐沃素式稻作法を行つて居る、豐沃素式とは豐沃素と云ふ一種の醗素を各肥料に用ひて行ふ稻作法であつて、此豐沃素を用ひて肥料の自給法を行へば今迄使つて來た何百圓と云ふ金肥は殆んど半額で足り、尚收穫の增收も出來るので今各地で大好評である。

豐沃素の發明者は東京小石川大塚仲町日本土地改良研究所であるから詳しき事柄は同所宛ハガキで申込めば豐沃素に對する說明書や實驗成績書類の參考書籍を無料頒布する筈なれば早速申込がよい。

慢性胃腸病に苦しむ人よ

是非ともアイフを服用せられよ

慢性胃腸病にて從來種々の藥を服用するも効なく外觀には左程大病らしく見えざるも胃腸內壁には恐ろしき疵やたゞれを生じ ◉食慾進まず胸先痞へ嘔つき嘈囃出で ◉下痢や軟便にて便に粘液膿汁を混じ ◉腹はり放屁多く出でゴロゴロと鳴り ◉胃酸過多症にて食前食後に胃部痛み ◉滋養物を食するも身につかず身体衰弱し ◉元氣衰へ顏色悪しく神經過敏となり ◉肺尖肋膜に故障を起し咳や熱出で ◉少しの飲酒や不消化物を食するも覿面下痢し痛み ◉重症にて痛み甚しく便に血液膿汁を混じ胃癌又は腸結核腸潰瘍等の疑ひある危險症には是非ともアイフを服用せられよ。

アイフは內服と同時に其の主藥は腸胃內壁に於ける糜爛面に附着し炎症を鎭め粘膜を强壮にし粘液の分泌を減じ腸の蠕動を制し下痢を止め痛を鎭靜す故に食慾を進め體重を增加し血色を良し榮養の吸收を佳良にし健康を著しく增進せしむるの効果を有す。

アイフを服用すべき病名

◉急性腸加答兒 ◉慢性腸加答兒 ◉大腸加答兒 ◉慢性下痢 ◉粘液性下痢 ◉腸潰瘍 ◉下痢性慢性盲腸炎 ◉急性胃加答兒 ◉慢性胃加答兒 ◉胃酸過多症 ◉胃アトニー ◉胃擴張 ◉初期胃癌及び胃潰瘍

アイフ藥價
普通アイフ 四日分 七十五錢 八日分 一圓五十錢 十七日分 三圓 四十五日分 七圓
重症用特製 十一日分 五圓 二十三日分 十圓 三十六日分 十五圓 八十日分 三十圓

發賣本舗 大阪市東區淸水谷西之町 順和公司
振替大阪三四五番 電話東 五〇〇〇、五〇〇二、五〇〇三

支店 大連市山縣通一丁目 順和公司 アイフは全國各地藥店に販賣す

けふ好樂家のお目見得を前に「音樂と舞踊の夕」の練習

顔を揃へた高夫妻、關女史、露人伴奏者

ソプラノ歌手の關鑑子女史を迎へて愈々今夜協和會館に於て開催する「音樂と舞踊の夕べ」出演者の顔觸れが揃つたので高勇吉氏、同ヘテイ夫人、關鑑子女史は伴奏者メデベデフ女史を加へて廿日午後三時から東公園町のシャトリカル、ビューローに於て練習をなし時に「城ケ島の雨」はセロの伴奏で歌ふことになつたが、本日は更に協和會館に於て更に伴奏者と調子を合はして愛好者の期待に添ふべく大いに意氣込んでゐる【寫眞は右からヘテー夫人、關鑑子女史、メデベデフ女史、高勇吉氏】

天機奉伺やお禮記帳の場合

男はモーニング女は白襟紋附 代用で差支へない

【東京二十日發電】從來左記の場合は男子はフロックコート、女子はビジチングドレスであつたが、爾今男子はモーニングコートにシルクハット、女子は白襟紋附(扱衣紋を除く)を代用してよいことに本日宮内省式部職から發表された

一、天機並に御機嫌奉伺のため記帳の場合

一、任官、叙位、叙勳、賜物等の御禮の記帳の場合

庭球戰無勝負

神明校對記者團

神明高女教諭チーム對記者團の對抗庭球試合は二十日午後四時より神明高女テニスコートに於て擧行されたが、ポイントゲームは二十一對十四で神明高女大勝し、優退戰に於て記者團優退二組を殘し斷然勝ち結局一對一で無勝負であつた、戰績左の如くである

△ポイントゲーム

神明高女		記者團
田中池上	四―〇	三藤馬場
米重池	四―一	友常立上
大貫藤野	〇―四	藤波諸谷
米重戸倉	四―一	額智富吉
片岡葛卷	四―三	五百旗頭富吉
茂木中村	四―一	堤　森
大平村中	一―四	山田菊川
合計	二十一―十四	

▲優退戰

記者團		神明高女
藤波諸谷	四―二	米重脇
山田菊川	四―〇	茂木中村
藤波諸谷	四―三	片岡葛卷
山田菊川	四―二	田中池上

對イタリー戰に日本苦戰か

全世界庭球ファンが人氣の的 デ盃歐洲ゾーン決勝

◇…全世界庭球ファンの視聽を集めつゝあつたデ盃戰歐洲ゾーンも豫想の如く日本イタリーの兩チームが、英國、濠洲、ハンガリー、オランダ、チエッコ、スロバキヤ等の強豪を一蹴していよいよこゝに雌雄を相爭ふことになつた日本チームは原田、太田、安部、佐藤の精鋭を以て熊谷、清水時代の再現を期し、イタリーもまたモルプルゴ、ステファニー、ガスリニ、ボシアドロ、ボノーの世界一流選手をすぐつて日本を一蹴、アメリカ、ゾーン勝者にチャレンヂせんものと必死の作戰を立て、日本對イタリーの決戰は今や世界スポーツ界の話題の中心となるに至つた

◇…伊國モルプルゴ、ステファニー兩選手はベース、ライン、プレイを以て誇り、特にステファニーは有名な兩手使ひの名手で最近ねばりのプレー振を示し、更にインプループして歐洲一流のテニスプレーヤーとして決して遜色なしである、而して太田はすでにステファニーと二回戰を合せて連敗の憂目を見てゐる、またモルプルゴの過去の戰績より考へるとき太田原田もともに苦戰と見られる、彼は六尺有餘の巨漢で鋭刀も強くサーブは左にカーブしスピンのかゝつた物凄い彼特有のサーブで太田原田を攻め立てることであらう

◇…ダブルスのモーブルゴ、ガスリニもすでに定評あるもので、原田、安部組も相當の苦戰となるであらう、たゞ日本チームとしては、今回新たにヨーロッパ、ゾーンに參加し、大なる期待を以て迎へられつゝありといふ意氣込みにおいてイタリーより一歩の長ありといへどもイタリーの強豪をなほすことは可成りの苦戰と見られ、或ひはイタリーに敗れるのではなからうかと氣遣はれてゐる

高松宮けふチューリッヒに御着

【チューリッヒ(スイス)十九日發電】高松宮同妃兩殿下には本日當地に御着、國立博物館、國際料理博覽會を御參觀遊ばされた、兩殿下には廿九日バーゼルに向け當地御出發、廿一日パリに御歸還あらせらるゝ御豫定である

全國失業者卅七萬人

四月一日現在

【東京廿日發電】内務省社會局調査、廿日發表による四月一日現在の全國失業狀況は失業者總數三十七萬二千百二十七名で前月三十五萬千五百八十九名に比すれば二萬五百卅八名を增加し失業率においては人口千名につき五人と四分の一といふ結果になつてゐる

秩父宮へお禮言上

太田關東長官宮邸へ伺候

【東京二十日發電】太田關東長官は十九日午後四時、赤坂の秩父宮邸へ伺候し秩父宮殿下、同妃殿下に拜謁仰付けられ過般滿洲御視察遊ばされたに就いて御渡滿御視察遊ばされたに就いて御禮を言上し、なほ滿洲の近狀について御下問に奉答し同四時半退出した、太田長官はその際、兩殿下に滿洲實寫フイルムその他を獻上御嘉納の榮に浴した

ヴォル河沿岸に大暴風雨襲來

數ケ村吹飛さる

【モスクワ十九日發電】十八日來殆ど歐洲全土を襲つた大暴風雨のためヴォル河沿岸のサマラ附近のクヅネッツ地方は被害甚だしく、死者數名を出し倒潰家屋數百戸家を失へるもの千名に達した、最も甚だしい處は數ケ村吹き飛ばされ形がなくなつて仕舞つた

佐藤準決勝に

クインスクラブ庭球選手權大會

【ロンドン十九日發電】クインスクラブ庭球選手權大會第四回戰で佐藤選手は印度のデヴイス・カップ選手フイジーをストレートで破り、準決勝戰に出場の資格を得た

佐藤	九―七 / 六―三	フイジー	(印度)

佐藤、三木組敗る

【ロンドン十九日發電】クインスクラブ庭球選手權大會ダブルス一回戰に於て佐藤、三木組は濠洲のデ盃選手ホップマン、ウイラード組に左のスコアで慘敗した

ホップマン / ウイラード	六―四 / 六―三	佐藤 / 三木

妙高丸は無罪

歸國の途へ

【敦賀二十日發電】さきに露領沿海州にて拿捕された新潟縣水產試驗場の妙高丸は浦鹽で罰金五百圓の言渡しを受け嚴重抗議中であつたが、この程證據不充分として無罪となり浦鹽出帆歸國の途についた

『どの程度で毆つた?』平手で一寸

志賀代議士に係る傷害罪第一回公判

【東京二十日發電】過般の特別議會で民政黨の賴母木桂吉代議士を毆つて傷害罪に問はれた政友會代議士志賀和多利に係る第一回公判は、二十日午前十一時から東京區裁判所にて内水判事、飯沼檢事、島田、牧野、熊谷、小野寺各辯護士かゝりで開廷、志賀氏はモーニングで被告席に着き裁判長の訪ひに對しにやり〱と笑ひながら答へてゐた、議場に於ける騷擾の原因經過につき取調べあつたのち賴母木氏毆打の一幕に入る

裁判長 何故賴母木を毆つたか

答 東代議士の登壇した時賴母木は議長の出席なく休憩中であるに演壇に上るは不都合だとゐたけ高になつて呶鳴つたその態度が癪にさはつたから毆つたのです

裁判長 どの程度に毆つたか

答 平手でちよつと

裁判長 醫師は全治五週間といふから相當強く打つたらう

志賀は自分の後頭部を平手でぴちやぴちや打つて「まあこの位です」と陳述、辯護士より岡田醫師、山

滿鐵新部長・次長の家庭訪問記 (F)

チヤキ〱の日本趣味 優雅な長唄の稽古

「主人はヘボ碁で無趣味ですワ」

武部殖產部次長夫人

市内兒玉町の新殖產部次長武部治右衛門氏の家庭を訪ねる、玄關に立つて案内を乞ふと奧から粹な三味の音が聞え、これは!と思ふ間も無くぱつたりと止んで淸子夫人が姿を現はす、恰度お師匠さんが來てゐてお習ひの眞最中なのだ。

◇……◇

「一昨年から長唄を始めたのでございますが六十の手習ひで一向手が上りません」とおつしやる夫人は本年三十五、記者が今まで會つた奧さんの中で一番若い、すつきりした着物の着こなし、圓味を帶びた臉、初對面から如何にも直ぐ親めさうな優しさうなマヽさんだ

◇……◇

洋樂は聞いても分りませんので協和會館などによく音樂會がありましても滅多に行つたことはございません、活動寫眞等も見たこともございませんのでよく人から笑はれる位でございますのよ、ただ長唄のよいのがございます時には聞きに參ります

と餘程の國粹趣味だ。

◇……◇

應接室に飾られた山東で掘出した佛像、南洋土產の土人の面、フランス名畫集など治右衛門氏の趣味が窺はれる。

◇……◇

主人の趣味といひましてもヘボ碁をやります位のものでほんとに私が見ましてもこれ程無趣味な人はないと思ふ位ですのよ

となか〱手嚴しい。

「そんなことおつしやつて、その通り書きますが後からご夫婦喧嘩のお尻が來ても知りませんよ」と記者は、事重大なので念を押した次第

「私共は喧嘩するほど、仲のよい夫婦ではございませんのよ」とシッペイ返しだ「けど昨日石川の奧さんからうかゞつたところでは滿洲の夫婦は家庭圓滿主義が多いさうですよ」と押返せば

「えゝ私共もさう仲の惡い夫婦でもございません」

◇……◇

これ以上話を進めると、こちらが恐縮させられさうなので記者は頭を下げてご遠慮申上げた。

◇……◇

「三味線は調子が三年と申しますから私なんかトテもまだ〱駄目でございますよ」と謙遜して物語る夫人は目下かなり熱心であり、この數年來滿鐵高級夫人間に長唄熱はなか〱盛んなものらしい【寫眞は賑やかな團欒の一家】

全滿少年野球大會

州内豫選會を擧行

來る七月一日より實滿兩球場で

參加資格 大正六年四月一日生れ以降尋常小學在學生に依り組織されたる學校代表チーム、校醫の證明書を必要とす

申込方法 在學證明書及び校醫の證明書を附し監督名、選手名、明記の上滿洲日報社運動部宛申込みのこと

申込期日 來六月二十五日まで

使用規則 大日本少年野球協會主幹横井春野氏著改訂標準少年野球規則に依る

使用球 大日本少年野球協會ボール二號

審判 大連野球審判協會に委任す

主催 滿洲日報社

口(政友)櫻井(民政)兩代議士を證人に申請して許され、裁判長は中村書記官、野田守衛長を喚問するに決し午後零時半閉廷した、次回は六月廿七日開廷の筈である

支那經由外國電報料金値下

一語十錢内外

關東遞信局管内より發する支那經由の諸外國宛外國電報料金は六月二十日より改正されたが、右は銀價暴落に起因するもので從來の料金に比すれば一語に付き十錢内外低減されたことになる、その主なるものは左の通りである

地名	改正料金	舊料金
	圓	圓
新嘉坡	九〇	一、〇一
印度及錫蘭	一、一八	一、二八
蘭領印度	一、二八	一、三九
歐羅巴各地	一、三八	一、四七
桑港	一、七八	一、八九
沙市	一、八五	一、九七
紐育及華盛頓	二、〇〇	二、一二

世界的音樂家連

賭博で五名擧げらる

【東京二十日發電】十九日午後十一時ごろ市外大久保百人町元日本興業銀行總裁故小野英二郎氏の息で前京都帝大教授小野俊一氏方から附近の靜けさを破つて時ならぬ賑やかさに錢の鳴る音が聞えるので巡邏中の淀橋署員がテッキリ賭博と睨んで署に急報した結果數名の警官を張り込ませ家内の樣子を窺ふと外人男女がトランプ賭博「プレファレンズ」に金を賭けて大騷ぎをやつてゐるのを確め得たので遂に同夜午前二時一擧に踏み込み五名を檢束、トランプ及び賭金百廿六圓十四錢を押收し同夜は淀橋署に留置、廿日朝警視廳外事課の應援を得て嚴重取調べ中である、右外人は芝白金猿町ロシア人ピアニスト東京音樂學校講師エルコハンスキー(三七)市外荏原町中延ロシア人バイオリニストシーフエル、ブラド(三三)同夫人ジンダ(三〇)麻布新龍土町オーストリア人ピアニスト東京音樂學校講師(内定)レオン、シロタ(四五)同夫人アバチエネ(三七)氏等で、いづれも有名な世界的音樂家で小野俊一氏のアンナ夫人を訪問お茶の會の後でこの始末に及んだものである

勝手な馘首

夏枯れ海の挿話

市内西公園町百八十五居住生越藤吉は船長として、同じく朝鮮人機關士田商珠は機關長として共に去る四月、黄花魚の漁期に市内信濃町市場廣順德商店こと王春盛に雇はれ王所有の永興丸に乘組んだが最近に至り夏枯になると共に高給な日本人を雇つて置くは不利であるとの理由で去る十二日突然解雇を申渡した、然るに生越は「日本人が乘つてゐると不法な支那官憲の手を逃れたり幾多の便があるので雇つて置きながらいざ暇になると共に馘にするとは勝手過ぎる」とて水上署に訴へ出たので、水上署では廿日船主並びに關係者一同を招き結局相當の退職金を出す事にしてケリをつけた、なほ同署保安係では今後この種の支那船主に對しては警告を發する模樣である

支那汽船坐礁

【門司二十日發電】大連支那汽船會社所有慶津丸(四二八六噸)は鑛石滿載基隆に向ふ途中、二十日午前三時基隆港外で坐礁し一番艙浸水甚だしく危險の旨門司に入電あり午後一時佑早丸を急派した

■日活現代劇臺本より■ この母を見よ （三八）

畸面座同人構成

等の姿を見ると今まで悲しみのドン底に喘いでゐたかのやうな夫人の顏が急轉して鮮かな笑顏に變つて行く。

そして慇懃に挨拶をして工場の中に迎へる。

倭子は人の背後に小さく隱れて等の視野から逃れようと焦つてゐる——幸ひに等は女工達の方を振り向きもせず夫人に尋ねた。

「瑠璃子さん、もう出掛けたんですか？」

夫人は低く腰をかがめながら追從笑ひを唇邊に浮べて答へる。

瑠璃子が毎度お邪魔させて頂きまして相濟みません 只今も貴方樣のお宅へお伺ひするなんて……

夫人の言葉が終るか終らないに等は「そうですか」と云ひ捨てると急ぎ足に戸口から出て行つた。

その後姿に夫人と女工達は丁寧に挨拶を送る、倭子は、ほつと安心した、が同時に此の工場主の娘と等とが識合である事を知ると又新たな不安が彼女の心に暗い影を擲げて來るのだつた。

「あなた瀧村さんと結婚なさるお氣持はないこと？」

「子供と一緒に餓え死してよ」

新たに心に捉へた不安は、嘗て千呂が云つた言葉を倭子の腦裡に甦らした。

彼女は其の恐ろしい言葉をふり落す樣に頭を振つた。

不意の闖入者で感激を消された夫人は、等を送ると又元の嚴格な表情を女工達の方へ向けた。

そして最前の感激を取り戻すように殊更に誇張した口調で口を切つた。

然るに 皆樣も毎日の新聞紙で御存知の通り近來我經濟界の動搖は遂に產業の……

夫人は一寸言葉に詰る。永らく唇を舐て無言だつた——「遂に產業の……」もう一度繰返して語尾を濁した。

夫人にとつて、そんな事はどうでもよかつたのだ、彼女は自分の言はうとする事を急いだ。

然し私は當工場主として皆樣の苦境を見るに忍びず全財產を投げ出してその潮流に對抗せんと決意したのであります

女工達は先刻から夫人が何を言ひ出すか烈しい不安に脅かされて居たが今の夫人の言葉に漸く安堵を感じた。

更に夫人が語を繼がうとした時一息せき切つた瑠璃子が這入つて來た。

お母樣 あの方がいらしやつたでしよう？

どうして？

「あら、今お歸りになつたよ」

瑠璃子は再び飛んで出て行つたが自動車に乘ると運轉手に向つて荒々しく命じた。

「もう一度、うんとスピードを出して□」

「…………」

工場では再び夫人の顏が悲痛な色を浮べて女工達の上に又不安が漲つて來た。

私は一度 固く決心いたしましたが 神は迷へる私を正しく導いて下さいました 私の破滅は私一人でなく こゝに居られる二十人の姉妹の破滅であることを悟らしめたのでありました

私は淚を呑んで——

自動車が又工場の表に停つて等が再び馳込んで來た。

「瑠璃さんは？」

「今出ました處ですが」

等は、それを聞くと周章て帽子を忘れた儘飛び出す、夫人が其れに氣付いて帽子を持つて追つて行く、女工達は張り詰めた緊張の中で此の滑稽な男女の姿と卑しい夫人の態を眺めて笑ひ度い樣な氣持を胸許に感じた。

夫人は部屋に嚴かな態度で歸つて來た、そして高い監督席からぢろぢろと一同を見廻して——。

その苦しい！ その悲しい煉獄の中でも私は神の御心と思はれた方策を 皆樣と御相談致したいのでございます

夫人は沈痛な面持で一渡り聲を張りあげた。

お氣の毒ではありますが このうちから幾人かを止めて頂くことですが……。

【寫眞 佐久間妙子 瀧花久子 津島ルイ子 水西節子】

滿日文藝 滿日柳壇

「朝起き」

朝になり昨夜の酒興裏話し　旅順 烟狂
行商の今日は雨かと又もぐり　旅順 辰雄
朝起の汗貯金の玉になり
裏長屋朝起の共稼ぎ　大連 吃醉
新世帯けんかの朝は早く起き
目覺し起されてゐる獨身者　旅順 金棒
マラソンの稽古朝露ふんで出る　鞍山 甫生
朝起て二次會からを聞かされる
日曜の朝起されてピクニック　大連 靜女
麻雀の疲れにいやな床離れ　大連 徹
魚釣に行く朝起きは苦にならず
いつになく朝起をした遠走日　新義州 露情
二日醉ひ腰辨といふつらい朝
朝の夢命とられて起き上り　大連 治子
朝起の口笛ガスのお茶もわき
朝起の散歩はいつも同じ顏　大連 東舍雪
朝起は體育デーだけにきめ
朝起がつゞいていつか倉が建ち　旅順 泥船
朝起は鍛冶屋で借りる煙草の火　大連 子禾
朝起へ怪しく交番目を見張り
添へたさの一念こめて朝詣り　遼陽 花瓢
新妻のもう起きてゐる煙を立て
黎明に國歌を唄ふ神の森　大連 佛心
早起のおかげ太陽でつかく見
今日も赤糧を需むる朝を起き　旅順 松風
朝起を忘れるころは病氣癒え
朝起の日記廿の出も書いてあり　旅順 溪丸
神棚へ額む朝起き靴をふみ
軍隊のラッパにつれて起きる朝

[illegible]日報
六月二十日

[illegible]拶を言上の後
軍縮會議の經過を伏奏
畏し大奧御學問所に參入して
けふ軍縮兩全權參内

【東京二十日發電】帝國全權としてロンドンに使ひし世界平和のため劃期的貢獻をなし無事歸朝した若槻、財部兩全權は天皇、皇后兩陛下の天機並びに御機嫌を奉伺し歸朝の挨拶を言上併せて會議の結果調印の運びに至つた經過を復命すべく二十日午前十時二十分川崎、左近司兩顧問以下隨員と共に宮城に參内した、この日若槻全權は長途の旅行の疲れも見せず晴々しき面持、勳一等略綬を帶びたフロックの禮裝で秘書の令息有格氏と共に坂下門より參内、青葉影濃き東御車寄より大奧に參入、これに前後し藤子夫人同伴の財部海相や齋藤情報部長等も陸續參入し斯くて全權一行二十餘名は鳳凰の間に順次參進陸軍大元帥の御通常禮裝を召された天皇陛下は鈴木侍從長の御先導にて出御、先づ若槻主席全權に謁を賜はり全權は歸朝の御挨拶を言上天機を奉伺し次いで財部全權以下にそれぞれ拜謁を賜はつた、斯くて顧問隨員等は一旦宮城を退出し、若槻、財部兩全權は更に大奧御學問所に進み咫尺の間に伺候し五國軍縮條約調印までの會議經過を四十分に亘り詳細逐條的に伏奏申上げ天皇陛下には終始御熱心にこれを御聽取あらせられたが、終つて陛下には御言葉をもつて若槻、財部兩全權並びに海外に在る松平、永井兩大使に御慰勞の御思召に依る優渥なる勅語を賜ひ兩全權は十一時感激して退下した

關係者一同に賜餐
有難き御思召に皆感激

【東京廿日發電】伏奏を終へた若槻、財部兩全權は次いで桐の間にて財部夫人と共に皇后陛下に謁を賜はり歸朝の御挨拶を言上引續き正午兩全權は顧問隨員等と共に豐明殿に參進、天皇陛下には閑院宮殿下、一木宮相以下を從へさせられて出御、濱口首相、幣原外相を交へた一同四十三名に對し御慰勞の午餐の御陪食を賜はり次いで千種の間でお茶を賜はり陛下には一同と御歡談あらせられ一同は午後二時過ぎ感激して退下した尚この日畏き邊にては若槻、財部兩全權に對して御紋章入りの銀製花瓶一對宛を目錄として賜り松平、永井兩全權には幣原外相を經て傳達せしめられた

兵力量覺書
手續督促

【東京二十日發電】十九日午前海相官邸において非公式軍事參議官會議開かれロンドン海軍條約に關する兵力量の決定に關する覺書に對して財部海相と加藤軍事參議官との間に意見の交換を行ふところあつたが、該覺書に對しては既に軍事參議官並びに財部海相等は署名調印を了したのであるから同日加藤軍事參議官より本覺書は既に完成したのであるから速かにこれを正式の軍事參議官會議に附議したる後上奏御裁可の手續を執られたしと述べて財部海相に對し督促するところあつた

全權に勅語

【東京二十日發電】若槻、財部、松平、永井四ロンドン會議全權に賜りたる勅語左の如し

勅語

卿等曩ニ全權委員トシテロンドン海軍會議ニ列シ今茲ニ復命ヲ聽ク累月ノ間愼重克ク謀リ精勵事ニ從ヒ以テ其ノ任務ヲ了ヘタリ朕深ク其ノ勞ヲ嘉ス

陸海兩相と直接交渉
豫算節約に關し

【東京二十日發電】本年度豫算節約案は陸海軍を除く外は略纏まりその結果大藏省原案二千六百萬圓に對し三千三百萬圓程度で折合が附いた模様である、而して大藏省側の讓歩額は販賣の合理化に依る事業益金の増加に依つて優に補ひ得る見込みであるが節約總額八千百萬圓中四千五百萬圓を占める陸海軍は十九日に至り漸く明細書を提出正式交渉に入つたが陸軍は五百萬圓海軍は三百五十萬圓以上は節約不可能なりとし態度頗る強硬で井上藏相は近く阿部陸相代理、財部海相と直接談判を開始する意嚮である

けふの寫眞

【上】は東京驛頭における若槻全權歡迎の群衆【下】は久し振りで自邸に落ちついた若槻全權の一家

走馬燈
支那（其十）
荻川

東四省當局が、支那革命の竣定に貢獻せんとならば、何を措いても金留主義を採れ、そうして之が爲には外資と外智を納れよと云つたが、筆者の日本人たるゆえを以て、それが日本の資と智なるべしと思つちや否けない、歐米いづれより可なりだが、さて歐米はそうとなると果して資力を借そうか、果して智力を與へようか、過去東四省に幾多の外國顧問が、在ゆる智識を携へて來たか、貽すところ幾何ぞや、亦資金なんぞは、てんで這入つてないじやないか。

◇

東四省に資を借し智を與へようと云ふ外國、外國人が皆無とは云はぬが、眞面目なるは得難し。幵は素々慾得づくから之を爲さんと欲せばなり、そうなると親き他人よりは、疎くとも親類筋が頼母敷からずや、東四省から觀ると、日本とロシアとは親類筋なり、此親類を今は東四省が疎んじて居る、殊にロシアなんかに對しては、此頃に至つて和親を斷り、東四省から莫迦な惡が選ばれ、支那全權としてモスクワにまでも出向いてゐるものゝ一時はそれと絶縁にまで進んだ

◇

絶縁にまで進み、絶縁が出來なくて這次の和親である、一たび結ばれた因縁は、そう易く絶ち得らゝものでない、尤も親類たるべきロシアが東四省に對し、親類らしからぬ態度を採つたことも再三あつた、併し東四省の現狀は、外よりも内である、内部を充實せねばならぬ、金融主義とて畢竟はこゝから來る、ロシアに對しての反撥態度、それよりも語弊はあるが、碎けて言へば、此ロシアを抱込むが利巧である、斯て縁の繋がる點に、共榮共存の果實を採れ。

◇

そうして露支の親類關係は、條約から起つて居る、若し此條約が氣に入らねば、其條約を改訂し、途を立て理を盡して、之が改訂に入るべきものならん、此場合に對者が紙を破らば、それこそ喧嘩差支なしで、斯うした喧嘩は必ず勝つに違はぬ、露支問題は先づこれとして、さて東四省は、同じ親類筋たる日本を何んと觀とるにや、日本はロシアと違つて、何處々々迄も親類の禮儀を盡して渝らぬ、それに動もすると對ロシア同様の素振を示すことあり、是果して東四省の利益か。

天津海關總罷業
けさ總税務司の命令で
外交團重大視

【天津特電二十日發】天津税關は十九日夜、南京政府の命令により閻錫山氏が任命した新税關長シンプソン氏を一人殘して全員總罷業を開始した外交團は之を通商事務停止として重大視し目下、對策を協議中

海關乘取と外交團の態度
損害無き限り默認か

【北平特電二十日發】天津海關收入の南方輸送禁止に關する最後策として閻錫山氏はピール天津海關長を辭職せしめてシンプソン氏をその後任としたことは現行海關制度の破壞に對する第一歩として各方面では重大視してゐるこれに對して北平の關係銀行團は外交團の注意を喚起してゐるもの丶外交團としても外債擔保の正税五分が確に保存されるといふのならば抗議の申込みやうもないといつた調子但し正税五分が軍費にでも流用された際は抗議を爲すべしといふだけである、北平の空氣はまづこんな所で目下は回訓を待つ程度であるが所詮抗議は出ないであらうと天津海關を勇敢に乘取つたことは今や閻錫山氏が自派[illegible]すべき資金缺乏の時に當つての當然の成行で、これを南方に廻したにしても蔣介石氏の軍費使用に決つてゐる然らば問題の海關收入は毎月幾何か（二百萬海關兩と云はれてゐる）既に鹽税を自己のものとした山西派は今度は長いこと統一のとれてゐた海關制度を打破して二百萬海關兩をせしめてやつと蘇生したわけである

南京政府が否認通電

【上海十九日發電】國民政府外交部は閻錫山氏の天津海關強制回收につきベルギー、スペイン等十五ケ國に對し山西派の行爲を否認しシンプソン氏を總税務司と認めざる旨を聲明通達したが、内英米日佛四國に對しては外交部から直通し他は上海總領事に本日交附した

郵便局長會議
來廿八日から三日間

遞信局では來る二十八日から遞信局會議室において全滿郵便局長會議を開催するが、出席者は櫻井局長以下各課長に全滿郵便局長四十五名、その日割は左の通りである

▲六月二十八日（土曜日）午後一時より事務打合

▲六月廿九日（日曜日）午前八時より遞信局長訓示、諮問事項「遞信事業の合理化に對する方策を問ふ」

▲六月三十日（月曜日）午前八時より建議事項、協議事項、注意事項

なほ七月三日には現業主事會議を開く由

對日感情は好轉
自分は用務濟み次第歸任する
賜暇歸奉の王家楨氏語る

時局の動きと共にその態度を注目されてゐる外交部次長王家楨氏が今回賜暇歸奉を期として南京を引揚げるとか又は國民政府の見極めをつけたとか種々批評されてゐるが、既報の如く廿日入港奉天丸で歸滿した甲板上流暢な日本語で「二週間の賜暇で丁度故張作霖氏の祭典が行はれるので列席のため、急遽來滿したものだ」と前提して大要次の如く語る

自分の進退に關し歸奉したら再び南京に歸らないだらうなんていはれてゐるが、自分は必らず歸る積りである、南北は戰つてはゐるが新聞通信が報ずるやうな大袈裟な戰鬪はまだ行はれてゐない、從つて上海南京ともに**至極平穩**である、蔣介石氏の負傷説なんか噴飯に値する自分があちらに行つてから二ケ月になるが、この間別に外交上これといふ問題もなく靜かなものだつた、日本に對する感情は非常に好轉し幣原外相の人氣は頗る好い、小幡公使アグレマン問題も自分が行つてからは何とも聞かされなかつたが、今次の南北戰で反國民軍の形勢が有利に傳へられてゐるが自分達外交事務に與かるものは出來得べくんば**國内戰爭**なぞを排斥したい、歸奉したら張學良氏にも自分の意見をよく述べるつもりでゐる、この間蘇州で日本の修學旅行學生が災難にあつたさうですが非常に遺憾に思つてゐます全く兇暴なる匪賊の一團が行つた事で政府の方でも衷心遺憾の意を表してゐた、何分短時日の旅行だから一寸ホテルに少憩して夜の急行で奉天に行くつもりである

滿鐵株主總會で議案全部を承認
けふ鐵道協會に開會

【東京特電二十日發】滿鐵の第二十九回定時株主總會は二十日午後二時丸の内鐵道協會において開催

一、昭和四年度事業報告書、貸借對照表、財産目錄及損益計算書承認の件

二、昭和四年度利益金處分の件

三、退職役員に對し慰勞金贈呈の件

四、監事改選の件

などを議題に供し仙石總裁の挨拶神鞭理事の營業報告などあり、決議事項を全部承認した

滿鐵昭和四年度營業成績の内容
けふ株主總會に提出

【東京特電二十日發】政府の認可を得て本日定時總會に提出した滿鐵の昭和四年度營業收支決算は左の如くである（單位千圓△印損）

種別	收入	支出	損益
鐵道損益	[illegible]	四七、三三四	[illegible]
港灣損益	一二、三六八	八、七七九	三、五八七
鑛業損益	八四、三三五	七二、〇九〇	一二、二四五
製鐵損益	八、九四〇	[illegible]	[illegible]
地方損益	[illegible]	[illegible]	[illegible]
總體費	[illegible]	[illegible]	[illegible]
收支	[illegible]	[illegible]	[illegible]
利息	[illegible]	[illegible]	[illegible]
雜損益	[illegible]	[illegible]	[illegible]
社債差額	[illegible]	[illegible]	[illegible]
補塡金	—	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]	四五、五〇六

而してこれを前年度即ち昭和三年度の營業收支と比較するに三年度の收入は二億四千四百十二萬七千圓同支出は一億九千七百八十七萬六千圓差引益金四千二百五十五萬一千圓であるから右四年度に對比し左の如き增減を示して居る（單位千圓△印減）

種別	收入	支出	損益
鐵道益金	[illegible]	[illegible]	[illegible]
港灣損益	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鑛業損益	[illegible]	[illegible]	[illegible]
製鐵益金	[illegible]	[illegible]	[illegible]
地方損益	[illegible]	[illegible]	[illegible]
總體費	[illegible]	[illegible]	[illegible]
收支	[illegible]	[illegible]	[illegible]
利息	[illegible]	[illegible]	[illegible]
雜損益	[illegible]	[illegible]	[illegible]
社債差額	[illegible]	[illegible]	[illegible]
補塡金	—	[illegible]	[illegible]
合計	五七二	△二、三八三	二、九五五

即ち收入において五十七萬二千圓の增、支出において二百三十八萬三千圓の減であるから結局損益計算においては二百九十五萬五千圓の益金增加を示した譯である

新職制に伴ふ市役所異動
けさ十時辭令を交附

大連市役所では廿日午前十時職制改正に伴ふ人事の異動を左の如く發表し即時夫々辭令を手交した

總務課長を命ず　主事　眞鍋良助

社會課長を命ず、兼衞生課長を命ず　主事　杉山虎雄

財務課長を命ず　主事　大久保忠一

收入役兼會計課長を命ず　主事　近藤誠久

總務課勤務を命ず（各通）　書記　武澤芳雄　書記　青木亮平　書記　土屋清人

衞生課勤務を命ず　書記　田代直喜

會計課勤務を命ず　書記　須田弘一　書記　大内喜光

社會課勤務を命ず（各通）　書記補　入江鍛

尚衞生課長の杉山氏兼任は前水上署長警視中尾大次郎氏の任命を見る事既定の事實であるが、目下中尾氏が内地に歸省中であるので正式の發令が遲れた結果でまた前記以外の書記および書記補は從前通りである

菱刈軍司令官は來る廿六日着任
直ちに旅大部隊巡視

新任關東軍司令官菱刈大將は來る廿六日うらる丸にて着任の筈で、着任後の初度巡視日割等左の如く決定した

▲廿六日午前九時上陸、埠頭貴賓室にて出迎者に應接、同四十分陸軍倶樂部にて小憩、午後零時四十分大連驛發旅順へ同二時五十分軍司令部會議室にて伺候式

▲廿七日軍司令部高等文武官に訓示挨拶廳内巡視、白玉山納骨祠參拜、關東廳訪問

▲廿八日滿鐵訪問、大連神社、忠靈塔、大連部隊初度巡視

▲卅日旅順部隊初度巡視、偕行社にて旅大及び柳樹屯官民招待

人事

▲向坊盛一郎氏（滿鐵計畫部次長）二十日入港ばいかる丸にて歸連

▲淺沼謙三氏（天野時計店員）同上來連

▲鷗鑑子氏（音樂家）同上

▲稻吉兼作氏（日本アスベスト重役）同上

▲樋口一雄氏夫妻（實業家）二十日下り機にて京城より來連

▲藤本清二氏（ツーリストビューロー天津出張所長）同上り機にて東京へ

仙石總裁
けふ首相訪問

【東京二十日發電】仙石滿鐵總裁は二十日午前九時濱口首相を官邸に訪問し滿鐵の人事異動、職制改正・各滿鐵傍系會社整理等につき報告諒解を求めた後ロンドン條約樞府御諮詢に關し政府の方針等につき意見の交換を行ひ午前十時辭去した

新聞座談會
永代氏の招待

殖民地新聞事情視察の爲め來滿中の新聞研究所長永代靜雄氏及常務理事村上俊氏は諸般の用務を了へ近く歸東するので留別を兼ね當地新聞界の主なる人々三十餘名を廿一日ヤマトホテルに招請して午餐會を催し食後新聞座談會を催す由

大觀小觀

若槻全權一行、宮中に召され光榮に浴す。

◇

とにかく世界史上に特記さるべき平和條約の締結に努力したのである。これによつて世界平和と國民負擔輕減の原則とが確立せられたのである。

◇

國民負擔の輕減、これ國民當面の問題であらねばならぬ。

◇

失業問題と政府の政策轉換、現實に立脚して必要とあらば、必ずしも形式に拘泥するの要なかるべし。政策は彈力性あつてこそ初めて眞の生命ありといふべきである

天氣豫報

廿一日（南西風）曇時々晴但し所により驟雨模樣あり

滿潮　午前五時三十分　午後五時三十分

干潮　午前十一時五十分

物盜り？怨恨？痴情？ 九寸五分を揮つて 一名を慘殺、一名に瀕死の重傷 ゆふべ南山寮の慘劇

初夏の夜も更けた廿日午前二時ごろ市内南山寮獨身宿舎二階五十八號室で九寸五分の白鞘の短刀をもつて一名を慘殺し、一名に瀕死の重傷を負はせた慘劇があつた、犯人は兇行後全市に張られた警戒網を巧に潜つて姿を晦まし未だ逮捕されないが、現場に遺された短刀の白鞘と血痕の指紋を唯一の手掛りとして所轄大連署では全市警察署の應援の下に必死の捜査に努めた結果、ほゞ犯人の推定を得た模様で指名犯人として手配が施されてゐる、犯行の目的は物盜り？怨恨？痴情の結果？

越口にうま乘り あわやひと刺し 救ひの聲に飛込んだ男に遮られ 犯人逸早くも逃走

午前二時ごろ南山寮二階五十八號室から「助けて呉」の悲鳴が廊下にもるゝを向側六十六號室の滿鐵々道部營業課勤務細村千勝(二〇)氏が聞き、不審に思ひ五十八號室を覗ふと何んたる凄慘！三十前後の男が滿鐵工務事務所勤務越口勇男(二〇)に馬乘りとなり血汐の滴る短刀をふりかざして

咽喉笛 を一突にせんとしてをり、室の下には鮮血にまみれて見るも無殘な即死を遂げてゐる男のあるを目撃し、夢中で室内に飛び込み越口に止めを刺さんとする犯人の襟首をとつて引き離した、犯人は廊下にヨロヨロとよろめき出るなり、血刀を提げたまゝ階下に逃げ何れかに姿を晦まして終つた、胸部と背面腰部を刺された

被害者 越口は氣丈にも犯人を追跡するつもりであつたが約十間を離れた階段口まで犯人の後を追ひ力及ばずその場にバッタリ倒れたところを附近の者が駈つけ自動車で大連醫院に擔ぎ込み應急手當を加へたが腸が露出してをりなかなかの重態である、慘殺された男は市内大黒町建築請負村越三太方木工北村眞澄(二三)といひ腦部に深さ二寸、肺に達する

致命傷 四ケ所を受け、左手母指は斬り落されてをり、室内は鮮血ほとばしり悽慘を極めてゐた

北村と犯人は來連直後、滿鐵工務事務所勤務の被害者越口に對し就職方を依頼してゐたところ、約十日前北村は越口の世話で大黒町村越方に雇はれ、犯人は未だ職なく

徒食し てをり、越口の行爲に誠意が無いと云つて不平を洩らしてゐたといはれてゐるから就職難の怨恨から斯る兇行を演じたものでないかと見られてゐる

兇行用の短刀 數日前に購入

犯人が兇行に使用した九寸五分の短刀は數日前同人が市内浪速町三九萬泉刄物店で購入したものであることが判明した

犯人は海員宿泊所に泊つてゐた

犯人某が七日以來宿泊してゐた市内寺内通の海務協會海員宿泊所では

あの人は七日以來ずつと泊つてゐましたが十九日夜も泊る心算で宿泊料二十錢を拂つてありましたがゆふべは歸つて來ません

と語つてゐた

北村は解剖に

慘殺された北村眞澄(二三)の死體は二十日午後一時から大連醫院に於て高井檢察官立會の下で解剖に附されたが、致命傷は胸部から肺に達する深さ二寸の刺傷であると

寢靜まるを待ち侵入兇行 ハンドルに殘した血痕の指紋 既に犯人の目星つく

急報に接した大連署では時を移さず全員の召集を行ひ全市に非常線を張ると同時に尾崎署長、藤井司法主任以下現場に急行、高井檢察官と共に檢證を遂げた、犯人は十二時前、南山寮に入り込み潜伏し被害者二人の熟睡を待つて闇暗がりな室内に侵入したものらしく、最初寢臺を並べて就寢中の北村を

滅多斬 し、次いで悲鳴に驚き起き上つた越口の背面めがけて突き刺し抵抗の隙に重傷の北村は寢臺からすべり落ち戸口まで這ひ逃げたが遂にそのまゝ絶命した一方越口に止めを刺さんとするところを細村氏に引留られ、騷ぎに紛れて逃走したものである、現場には短刀の白鞘が

鮮血に 染まつて殘されてゐるのみで物的證據となるべきものは見當らないが、階下玄關の引手に犯人の血痕指紋が鮮かに殘されてゐたので大連署鑑識係では直ちに指紋の採取を行ひ動かすべからざる證據としてゐる

……る ……後 ……に ……ゐた

……傭夫で海軍……(時に名を……定期船で來……た仲である……して有力視さ……噂を聞くに、

兇行の演ぜられた南山寮 =五十八號室(×)

重傷の越口君は眞面目な男 勤め先の話

大連第二工事區事務所尾崎庶務主任は語る

越口君は酒も飲まず本當に眞面目な男でした、建築係でも模範的な男です、大正十二年入社以來ズツと今日まで過も無く働き前途を囑望されてゐました、同君と北村君との關係は全然知りませんが人に怨まれるやうな男でなく、十九日も何んの變りもなく出勤してゐました

おとなしい男だつた 北村の傭ひ主村越氏は語る

慘殺された北村の傭ひ主である村越建築事務所主村越三太氏は語る

北村は大工ですが柔順しい男でした、越口君も柔順しい男でしたが同君以上に柔順しかつたのです、越口君から頼まれて今月の十日から私の處で使ひ始めたので詳しいことは知りませんが十四日に五日分の給料を拂つたのを殆んど使つてゐませんでした、こんな點から推しても眞面目な男だと思ひます、今月の七日一人の友達と一緒に職を求めて來連したとかいつてゐましたその一人の友達といふのは機械工とかで十日私の留守に來て妻に就職口を頼んだそうですがそれ切り來ませんでした、兎に角若い男で末頼しく思つてゐましたのに惜しいことをしました、原籍は三重縣、横須賀で働いたこともあるやうです

たゞの喧嘩位に思つてゐた 兇行現場に飛込んだ細村千勝氏の話

救ひを求める聲を聞きつけて兇行現場に飛び込み越口の危急を救つた滿鐵貨物課勤務の細村千勝氏は語る

私が五十八號室に行つたのは午前二時十分頃だつたが私のほかにも二、三人苦しいうめき聲を聞きつけ何んだらうかと怪しみながら廊下に出て來てゐた、まさか

殺人が 行はれてゐるやうなことは夢にも思はなかつた、五十八號室に飛込んだときは、室内は消燈されてゐたゝめ詳細な樣子は判らなかつたが、私の室から射込む光りで見たところ犯人は被害者の上に馬乘りになつてゐるやうでした、獨身宿舍のことであるから喧嘩位に思つて馬乘りに乘つてゐる男の左手を滿鐵工務課勤務の宮崎君(南山寮居住)が握つてイキナリ引張つた、そのはずみでその男と私とは正面衝突をやつたが、そのまゝ

室外に 出たようでした、電氣をつけて見て兇行を知り宮崎君と二人で男の後を追ふたが廊下の突當りまでは犯人の姿も見えたけれど三階に行つたか寮外に逃走したか見失つたゝめ寮の人を起し被害者の室に歸つた越口君は室外に出でたまゝ廊下に倒れてゐたが「ヤラレタ醫者に電話を」といふのでそれぐ手配したがその後は全く意識を失つてしまつた、越口君は非常に温厚な人だから人に怨みを受けるようなことはあるまいと思ひます、殺された人は

名前も 知らぬ位だから詳細は判らないが越口君とは直接の友人でなく紹介された間接の知合ひらしいです、朝顔洗ふときなどよく出會つたが非常に内氣なおとなしい男のやうに私たちは思つてゐた、一週間ばかり前色の黒い餘り上品でもない三十歳がらみの男が越口君の室で職がなかつたから滿洲見物に來たと思つて歸るさなどの話もあつてゐたやうである、その男も殺された北村と同じ船で來連した樣です、犯人は何者であるか判らないが逃走の際「人を馬鹿にしてる」と云つてゐたとかボーイが話してゐたのを聞きました、なほ犯人の顔を室が暗かつたゝめ見なかつたが寢衣は單衣のようでした

ソプラノの唄女 闘女史來る 『高さんとは昔からの樂友』 あすの音樂會に出演

「それはもう隨分大變なお別れをして來たんですわ」身體にピッタリ似合ふグリーンの洋裝で、ソプラノの名唄ひ手闘鑑子女史は若々しい聲と社交的な物腰でばいかる丸サロンで語る

上海には一度行つたことがあるんですが滿洲は初めてですわ、遠い滿洲に行くんだといふので私の出發の時なぞそれは隨分大げさな

お別れ ですつかり目を泣きはらしてしまひましたわ、妹(闘種子孃)から詳しく滿洲の樣子を知らせてくれたのと、セロの高さんとは昔からの樂友なので思切つて來たものです、レコードなぞでは滿洲の皆樣ともお友達ですが皆樣にお會ひするのは初めてでなんですからそれだけでもこちらに來た甲斐がありますわ、何分よろしくお賴みします

女史は出迎への爲め高勇吉氏、ヘティ夫人達が

打ふる ハンカチに懷い友情を感じ乍ら上陸したが、さきに本社主催で闘鑑子女史の演奏會日取が發表されるや、續々入場の申込あり今更女史の人氣の素晴らしさを如實に物語つてゐる

銅子兒十五貫の密輸犯捕はる

二十日午前五時芝罘より入港の第三十六共同丸を檢疫中、檢疫船小高丸の横付けせる反對側に潜かに舢舨を付け何物かを持出さんとするのを檢疫中の水上署張巡捕が發見、朝の海上をあなたこなたに逃げるを小高丸で追跡けフイルムそのまゝの情景を斷出して遂に逮捕したが銅子兒十五貫を舢舨と共謀密輸せんとしたもので、犯人は山東生れ李長白ほか三名

全滿殉職者慰靈祭 けふ盛大に執行

滿洲神職會主催の全滿殉職者慰靈祭は廿日午前九時より滿鐵社員倶樂部大食堂において執行されたがその次第は修祓、獻饌、降靈、祝詞、昇靈、撤饌でその間奏樂の順序で參列者は太田關東長官代理三浦内務局長、陸軍代表三宅參謀長、海軍代表久保田駐在武官、神田大連民政署長、栗野滿鐵地方課長、中西同人事課長その他多數知名士及び遺族等全部で三百餘名にのぼり頗る盛大裡に同十時終了した、また式後滿洲神職會創立十周年記念式が擧行され、太田關東長官、仙石總裁其他の祝辭が朗讀された

畑遺族より謝電

畑軍司令官の遺族から二十日本社宛左の入電あつた

安着御禮、皆樣へよろしく

南北支の比較研究が今次旅行の收獲 關東廳高等科生一行 けふ奉天丸で歸連

關東廳警官練習所高等科生廿二名を引率して南北支那を視察旅行中であつた警部酒井碩二氏は、練習生一同と共に廿日入港奉天丸で歸連したが語る

三日に大連を出發して天津、北平、青島、上海に行つたもので北支、南支をよく比較研究することが出來たのが今次旅行の收獲だつたらう南京にも行つたが新興支那政府の所在地としては隨分田舍臭いものに感じられた

對日感情 一時に はよかつたが、蘇州の福商生徒の被害事件にぶつかつて今更ら「支那つて國は解らない國だなあ」と考へさせられた、南京上海は今次の戰爭で大して騷いでゐなかつた、上海での張靜江氏談によると何れも有識の士は和平解決を望んでゐるやうに見受けられた

因に一行は十六時發列車で歸旅した

滿洲最初の試み 全滿リレー大會 出場の主なる選手

【撫順特電二十日發】二十二日午前十時より撫順永安臺トラックに於て擧行される撫順體育協會主催の全滿リレー大會は滿洲最初の試みとして斯界より大なる期待を以て迎へられてゐる、しかして第一部は大連アスレチック倶樂部が優勝チームとして目されてゐるが奉天撫順も侮り難く、第二部では工專、旅順のうちいづれかが優勝するものと見られてゐる、なほ本社寄贈の優勝盃は第一部四百米リレーに授與されることになつた、因に各競技出場の主なる選手は左の如くである

百米大連小須賀、岡、中村、奉天今井、撫順田中(二部)旅順上倉、鞍山田中、育成多田、工專高木(二部)▲四百米大連濱田木田、三隅、松重(一部)育成多田(二部)▲千五百米大連永谷大籔、八重樫、奉天成毛(一部)▲高障碍大連鶴岡、星名、撫順柴田(一部)▲砲丸投大商白石、旅順上倉(二部)奉天川野、撫順西村(一部)▲圓盤投同上▲槍投撫順岡田、奉天川野、大連星名▲走巾跳撫順柴田、大連岡(一部)▲走高跳撫順柴田(一部)旅順最上、鞍山山崎(二部)▲棒高跳、撫順淺坂、奉天伊藤(一部)工專西田(二部)

大連道場の月次柔道大會 七月六日擧行

大連道場柔道部では來る七月六日午前九時から大連道場で左記規定に從ひ月次柔道大會を開催することになつた

▲申込場所滿鐵本社學務課運動會▲申込方法身長體重、年齡、級段を明記の上七月三日までに申込みのこと

なほ試合方法は幼年、青年組に分ちまた申込後無斷缺席したるものは次回大會の出場を許さず、今回の試合の成績に依り進級を許すことになつた

ストライキ女給 元の古巣へ

さきに「妾等は雇傭條件に不服であります」と、斷然大連カフエー界最初のストライキを斷行した連鎖商店内の自由亭女給も最近再び同亭にて働くことゝなり、廿日正式に小崗子署へ再認可願を出した

足場を踏み外して 苦力三人が重傷

十九日午後四時半第一埠頭四番バース繫留中のS・Sフエクター號で支那人苦力山東生れ叩正發(三二)同李更仁(二〇)同馬榮山(三〇)の三名が、最上甲板に足場板を渡し鐵材積卸作業中、叩が足場を踏みはづし五十呎の船底に墜落、その煽りで他の二名も墜落それぐ骨折打撲の重傷を負つた

少女を救つて表彰

沙河口管内香爐礁第三區六番戸居住の郭重貴長男郭當く(一六)は、十八日午後零時半ごろ香爐礁第三區南方海岸において海水浴中誤つて深間に足を辷らし苦悶中、折よく同所を通り合せた同地居住の漁業劉明傑(二〇)が救助したため漸く蘇生したが、沙河口署では劉を人命救助として近く表彰すると

艶色生膽祕譚 (148)

伊藤松雄作
原塚龜太郎畫

辻斬 (一)

「どなたもお歸りがないやうだ！」

お力婆さんは檀込越しに、離れの方をちらり見やつた。

「顏川様には鎭鑑の相、左近様には女難の相、ありくと見られた……それもお二人の相、とりかわつてでもゐたなりや當然かも知れぬが……はて氣にかゝる、何事もなくてくれゝばよいが……」

邊りは風もなくぶきみにシーンと靜まり返つてゐる。

と、玄關を訪ふ聲——。

「おゝ誰方か御見えになつたやうだ……」

行衣の襟をかき合せてゐると、そこへ小女が、摺足して入つて來た。

「まだお若い御姉弟の様なお二人まして」

「ではお通し申したがよい」

案内されて入つて來たは、妙香に欣彌の二人だつた。

初對面の挨拶がすむと、早速要談にかかつた。

「さがし人でございますが」

妙香は漠然と云つた。

お力はその瞬間妙香の面上に、劍難の相を認めたので、

「仇討の身かな？」

さう察したのであらう。

「お武士でございませうな？」

「はい……」

「お名前は？」

「仔細あつて申上げられませぬ」

「では、一心こめてその方を御念じ下さいまし」

云ひ終るとお力、榊をとりあげサツ、サツときよめ祓ひ、やがて精神一統を試みるのであらう、双掌をくみ合せて半眼のまゝ白木机に据えた謎い木箱へ身をもたせかけたが、いつもの如く心氣一點に凝つては來ない。

「はてお深はしい、この妙齡なお嬢様に劍難の相とは……」

御判斷を頂きたいと申され

これが疑念となつて邪げをなすのだつた。

いつたん眞赤に燃えあがつたお力の顏、やがて蒼白におちつき來ると、タラ〳〵額から油汗したゝり、全身異様に硬直の狀態に陷つて唸いた。

「うーむ」

妙香はこの機を外さず欣彌を顧み、心靜かに訊ねた。

「宮川左近様でございますか」

「おゝ！」

お力は武張つた口吻で問ひに答へる。

「どちらにお住居でゐらつしやりませう？せめては一度お逢ひ申したく……」

「や、われらが住居は明しかねる、それにいまとなつてはそなたと敵味方ぢや、呪ふても足らぬ憤怒をさへ感じて居るのぢや」

「え？」

妙香は意外な言葉に息をのむ。

「すりやまた何故でござる？左近様、あなた様は必ず何か思ひ違ひをなさつてゝ御座りますぞ、どうぞこの頃の御様子せめては一端なりともお明し下されませぬか？」

今度は欣彌が膝を進めた。

「は、は、は、逢ひたくば吉原堤へござれ、夜毎に彷徨いたしをるわ、心に鬱積する憾みを散ずるためにな、さげすみなさるがよいわ——辻斬、辻斬に限るて……」

……」

妙香は涙をためてその聲をきいた。

欣彌も返す言葉がなかつた。

しばらく沈默がつゞくと、お力の總身から、グッタリ力がぬけ去り、もとの姿態にと戻つた。

「如何でござりました、よいおしらせが出ましたかな」

「は、はい」

欣彌はもぢ〳〵してゐたが、

「巫女殿、いま一度、寄せて頂きたい、これも武士ぢや」

「——」

お力は數珠を押すやうに欣彌の顏を見つめた。

「宮川右近と申さるゝ仁ぢや、年の頃は廿七八歳……」

お力はハッとした。

「あッ、右近様を……」

思はず唇に出しかけた。

音樂と舞踊の夕
讀者優待割引券
六月廿一日午後七時半滿鐵協和會館に於て本券持參者に限り一圓五十錢
主催 滿洲日報社

音樂と舞踊の夕

出演者
セロの名手 高勇吉氏
舞踊家 ヘティー夫人
ソプラノ歌手 關鑑子孃

會期 六月二十一日午後七時半
會場 協和會館に於て
會費 一般二圓 讀者一圓五十錢

主催 滿洲日報社

明晩に迫る音樂と舞踊の夕

セロとソプラノとダンス 面白いプログラム

本社主催大連滿鐵社員倶樂部後援の「音樂と舞踊の夕」はいよ〳〵明晩に迫り非常な期待を以て迎へられてゐるが、出演者はセロの天才高勇吉氏及び舞踊家ヘティー夫人に別項記載の如くソプラノ歌手の關鑑子孃が本日入港のばいかる丸で來連し三人の顏觸れが揃つて開演を待つばかりとなりプログラムも左の如く決定した

第一部

1、ピアノとセロ二重奏
歌劇「魔笛」主題に據る七つの變想曲……ベエートーフエン作

2、ソプラノ獨唱
(イ)鱒……シューベルト作
(ロ)我夢に泣きぬ……シューマン作
(ハ)マリアマリ…カプア作

3、セロ獨奏
惡魔大幻想曲……フイツエンハーゲン作

4、ソプラノ獨唱
(イ)歌劇「カルメン」より(ヂプシーの歌)……ビゼエ作
(ロ)歌劇「カルメン」より(ハバネラの歌)……ビゼエ作

5、セロ獨奏
(イ)プレリュード……ラハマニノフ作
(ロ)泉のほとり…ダヴイドフ作
(ハ)ヴイトー……ポッパー作

6、ソプラノ獨唱
(イ)城ケ島の雨…橋本國彦作
(ロ)この道……山田耕作作
(ハ)柳のわた……山田耕作作
(ニ)離れ小島……弘田龍太郎作
(ホ)ほうほう螢…弘田龍太郎作

休憩

第二部

舞踊

1、歌劇「アイーダ」中のバレー……ヴエルデイ作
2、春の雨……フインク作
3、人形の踊……シューベルト作
4、歌劇「ファウスト」中のパッカナール……グノー作

尚會券は二十一日朝より社員倶樂部事務所に於て前賣を開始するが今秋まで協和會館におけるこの種の催しのお名殘といふので素晴らしい景氣であるから賣切れぬうちに本紙刷込割引券を利用して座席券と交換されたい、また高勇吉氏のセロ獨奏及び關鑑子孃のソプラノの獨唱のピアノ作奏者はメデベデフ女史に決定した。

◇◇三人の母◇◇ 一人の幼兒をめぐり織り出される母性愛を取扱つた帝キネ得意の現代劇、歌川八重子、千草秀子、平塚泰子、尾崎靜子、間英子、鈴木勝彦らが出演し監督は曾根純三で小笠原白也の原作「三人の母」の映畫化【演藝館上映】

遠山滿一黨 二の替

森の石松上演

大連劇場に開演中の遠山滿、小原小春一黨の劍戲劇は久々の來演で人氣を呼んでゐるが、今廿日より左の如く二の替り狂言を出すが、そのうち森の石松は遠山の當り狂言として期待されてゐた呼物である

第一 地藏殺の由來
第二 沓掛時次郎
第三 森の石松

七月號の日活畫報に片岡千惠藏と仲良くならんで長大日活館主が悠然寫つてゐる▲これで一つオトウサンの存在を大々的に宣傳するに限ると親タレどもが寄つて飛んだ建策をする▲も一つお芽出度い話——昨日の朝からとても爽かな氣分になつて林大日活子が飛び廻つてゐる▲どうした譯かと聞けば「久振りで腰が輕くなりました」といふがこれは他人にわからない▲演藝館の「三人の母」はこの世の凡ゆる母ッさんに向くと氣勢をあげてゐるが▲なる程、實母か、養母か、繼母以外におつ母さんはあるまい▲夏川靜江とすつかり仲の良くなつた岡部平太さん、今度は八月は撮影の都合で行けませんから七月に大連へ行けるやうにとの手紙を受取り▲是非來月に招んでやつて欲しいと大日活へ懇談に及び、どうやら實現しさうだといふから其内に挨拶の御機嫌になる

大連 JQAK

六月二十一日午後七時三十分
▲ラヂオ體操
▲講話(獨逸語講座に就て)大連語學校講師荻桑
▲ピアノ獨奏(水車の歌)大連音樂學校選科生徒前田啓子
▲講話(時間の活用に就て)公正社長兼井林藏
▲箏曲(六段)尺八名和榮二郎、箏渡邊靜溪
▲支那唄(空城計)、唄于後亭師付 王振泉
▲料理獻立
▲天氣豫報

東京 JOAK

六月二十一日午後六時二十五分
▲講演(全國職業指導デーに際して一言)文部大臣田中隆三
▲浪花節(宇都宮釣天井)玉川太郎
▲浮世節(一)三下り五月雨(二)鶏飼して(三)かんさうじよ(四)都々逸(五)おほかゑ 立花家橘之助
▲掛合噺(夏祭)笑福亭鶴造、橘ノ圓